

こども・若者 Vol.1

ミライNEWS



こども・若者のミライにつながる条例をみんなで考える部会

川西市は、こどもが笑顔になる、こどもが幸せになるために、こどもたちが自分の考えや意見を表明できる機会を保障するため、「(仮称)こども参加条例」の制定をめざしています。

大人だけで考えてつくるのではなく、当事者であるこども・若者が自分たちの意見を伝えながら、まちづくりに参加する権利を保障するためのルールについての話し合いを通じて、より良い条例づくりを進めています。

6月29日(土)にキセラ川西プラザで第1回がキックオフ



市内在住で9歳から29歳までのこども・若者約29,000人から無作為抽出した1,000人に郵送で参加を呼びかけたところ、51人から申し込みがありました。

第1回では、そのうち約40人のこども・若者が参加しました。

市はこれから、こども・若者が自分たちの意見を伝えながら、まちづくりに参加する権利を保障するためのルールについて、当事者であるこども・若者のみなさんとともに考えていきます。



部会の冒頭では、「コッシー」こと越田市長から、参加したこども・若者に向け、「まず、こどもの幸せから始めていきたいと考えています。そのためには、みんなの考えや想いをコッシーに伝えてほしいです。みんなが安心して伝えられる環境をつくってほしい。どんなことを普段考えているかな？ その声を私たちはしっかりと受け止めていきたいです」などと、参加者へ直接マイクを向けて意見を聞きながら、メッセージを届けました。

キックオフの模様

話しやすいように参加者だけでなく、スタッフもみんなで名札に呼んでほしい愛称を記入。

第1回は全5回で進める上でのSTEP1として、ファシリテーターから、「今日はゲームをしたり、お菓子を食べたりしながら、楽しくおしゃべりをして、参加しているメンバーで仲良くなろう」と説明。

自己紹介では、色紙から今の自分の気持ちに近い色を選んでその理由を言ったり、好きな食べ物や動物を発表。



9つのグループでストレッチやチーム名を決めるなどのアイスブレイクをした後、参加者たちは「子どものけんり なんてやねん！ すごろく」を楽しみ、「こどもは自分の意見を自由に表す権利を持っています」などのこどもの権利を学びながら、普段「なんでやねん！」と思うことを参加者同士で話し合いました。

すごろくを楽しんだ後は、自分がモヤモヤしていること、納得がいかないことなどを各テーブルに配られた大きな木の絵「なんでやねんの木」にふせんで貼りながら、意見交換をしました。



参加者の声

話しやすくて良い機会だと思いました。

色々な年齢の人と話す時があまり無かったので新鮮だった。



もっと色々な人と話したい。

みんなが優しい雰囲気だったので、自分の思っている事をハッキリ言えたのでとても楽しかったです。

違う意見を知れた。

知らない人と喋ったり、意見を言ったりするのが楽しかった。



こども・若者 Vol.2 ミライNEWS



こども・若者のミライにつながる条例をみんなで考える部会

川西市は、こどもが笑顔になる、こどもが幸せになるために、こどもたちが自分の考えや意見を表明できる機会を保障するため、「(仮称)こども参加条例」の制定をめざしています。
大人だけで考えてつくるのではなく、当事者であるこども・若者が自分たちの意見を伝えながら、まちづくりに参加する権利を保障するためのルールについての話し合いを通じて、より良い条例づくりを進めています。

7月27日(土)に第2回を開催！！ みんなで意見やアイデアを出し合った「夢と希望の島」



第2回では、約30人のこども・若者が参加しました。

部会の冒頭では、「みっちー」ことファシリテーターの渡邊充佳さんから、前回実施したすごろくの内容やなんでやんの木についての説明がありました。

その後、9歳から29歳を対象に実施したアンケート調査の結果を参加者みんなで共有をしました。

アンケート結果では、川西市のまちづくりに言いたいことはあるけど、伝えようと思うのは10人いたらわずか1人という結果でした。

ファシリテーターの渡邊さんより、

「そういうことなら…、こども・若者のみんなで意見をだしあって

『夢と希望の島』をつくったらどうなるかな？」

という問いかけから、「夢と希望の島」づくりが始まりました。



ゆめ きぼう しま さくせい ようす 「夢と希望の島」作成の様子

参加している子ども・若者のみなさんは、それぞれが思い描く「夢と希望の島」について、自由な発想で自分の意見やアイデアを次々に発表していき、各グループそれぞれで個性のあるステキな島が完成しました。



完成後は、「夢と希望の島めぐりツアー」を実施し、各グループのファシリテーターがガイド役となり、島の魅力などを他のグループの参加者へ説明をしました。

意見を言いやすいとき、言いにくいときはどんなとき？

後半では、ファシリテーターのみっちーより、「夢と希望の島をつくるときにはみんな自分の考えや意見を言えたのではないかと思います。でも、ふだんの生活では意見が言いやすいときもあれば、言いにくいときもあるよね。それってどういうときかな？」という話があり、参加者で「どんなとき、どんな場所、どんな人になら、意見が言いやすいかな？」などについて、意見交換をしました。参加者からは以下のおりさまざま意見が出ました。



意見を言いやすいとき

否定や反対されないとき

学校

少人数のとき

親しい友人

こういう何でも話してもいいような場

共感してくれるとき

年齢の近い人がいるとき

意見を言いにくいとき

みんなが無言のとき

緊張したり恥ずかしいとき

否定されたり賛同してもらえないとき

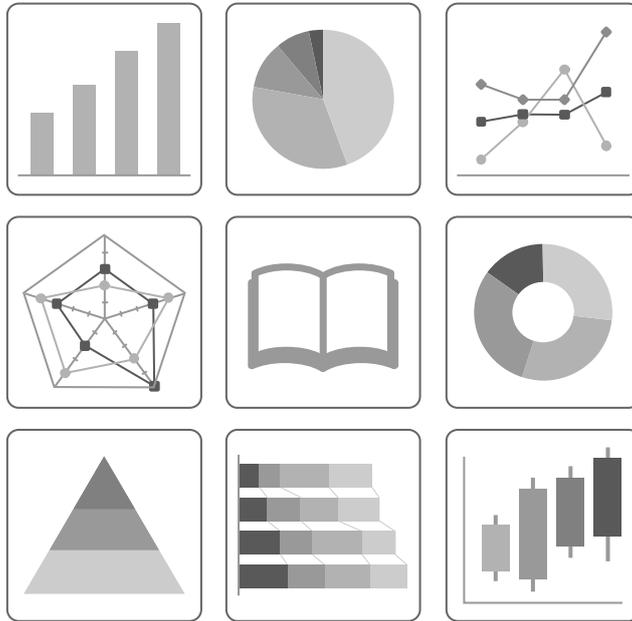
偉い人や目上の人

怒られているとき

かわにし し
川西市

わかもの いけんひょうめい かん ちょうさ
こども・若者の意見表明に関するアンケート調査

けっ かほうこくしょ
結果報告書



れいわ ねん がつ
令和6年7月

かわ にし し
川西市

もくじ

I	ちょうさ がいよう 調査の概要.....	1
1	ちょうさ もくてき 調査の目的.....	1
2	ちょうさたいしょう 調査対象.....	1
3	ちょうさきかん 調査期間.....	1
4	ちょうさほうほう 調査方法.....	1
5	かいとうじょうきょう 回答状況.....	1
6	ちょうさけっか ひょうじほうほう 調査結果の表示方法.....	1
7	さんこうけいさい かていちょうちょうさ 参考掲載のこども家庭庁調査について.....	2
II	ちょうさけっか 調査結果.....	3
1	かいとうしゃぞくせい 回答者属性.....	3
2	いけんひょうめい 意見表明することについて.....	5
3	ねんちょうしゃ たいおう おとなや年長者の対応について.....	10
4	し しせつ いけん 市や施設への意見について.....	16
5	じゅうきじゅつ 自由記述について.....	28

I 調査の概要

1 調査の目的

子どもや若者が自分の意見を表明できる機会を保障するため「(仮称) 子ども参加条例」の策定に向けた取り組みを進めており、子どもや若者が日常生活の中で自分の意見や考えを表明することに対する考え方などを把握し、条例をつくる基礎資料とすることを目的に、調査を実施するものです。

2 調査対象

下の3つの区分について、無作為に対象者を抽出。

- ・子ども(0～8歳)：市内にお住まいの0歳から8歳までのお子さんの保護者
- ・子ども・若者(9～29歳)：市内にお住まいの9歳から29歳までの方
- ・おとな(30歳以上)：市内にお住まいの30歳以上の方

※このアンケート調査では、「子ども」を18歳未満、「若者」を18歳～29歳、「おとな」を30歳以上と定義しています。

3 調査期間

令和6年5月1日から令和6年5月19日

4 調査方法

郵送による回答依頼・インターネットによる回答

5 回答状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
子ども(0～8歳)	500通	260通	52.0%
子ども・若者(9～29歳)	1,000通	183通	18.3%
おとな(30歳以上)	1,000通	317通	31.7%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数(N)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

7 参考掲載の子ども家庭庁調査について

(1) 参考資料

- ・ 子ども政策決定過程における子どもの意見反映プロセスの在り方に関する調査研究報告書
- ・ 子ども政策決定過程における子どもの意見反映プロセスの在り方に関する調査研究報告書 概要版

(2) 調査対象

- ・ 小学4年生～概ね20代の方
- ・ 有効回答数：2,119名

(3) 調査期間

2022年11月16日（水）正午～2022年11月30日（水）18時00分

II 調査結果

1 回答者属性

(1) 宛名のお子さんの年齢 ※2024年4月1日時点〈単数回答〉 【こども（0～8歳）】

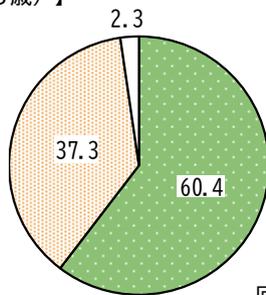
あなたの年齢 ※2024年4月1日時点〈単数回答〉 【こども・若者（9～29歳）・おとな（30歳以上）】

こども（0～8歳）の調査では、「就学前児童（0～5歳）」の割合が60.4%、「小学生世代（6～8歳）」の割合が37.3%となっています。

こども・若者（9～29歳）の調査では、「18歳以上」の割合が45.9%と最も高く、次いで「小学生世代（9～11歳）」、「中学生世代（12～14歳）」の割合が18.0%となっています。

おとな（30歳以上）の調査では、「70歳以上」の割合が25.2%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が22.1%となっています。

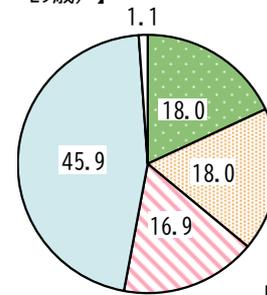
【こども（0～8歳）】



回答者数 = 260

■ 就学前児童（0～5歳） ■ 小学生世代（6～8歳）
□ 無回答

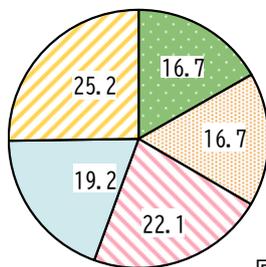
【こども・若者（9～29歳）】



回答者数 = 183

■ 小学生世代（9～11歳） ■ 中学生世代（12～14歳）
■ 高校生世代（15～17歳） ■ 18歳以上
□ 無回答

【30歳以上】

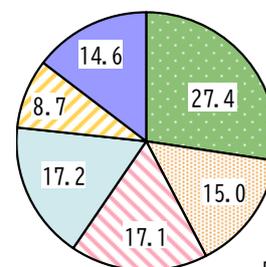


回答者数 = 317

■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代
■ 60歳代 ■ 70歳以上

【参考（こども家庭庁調査）】

問 あなたの学年／年齢を教えてください。



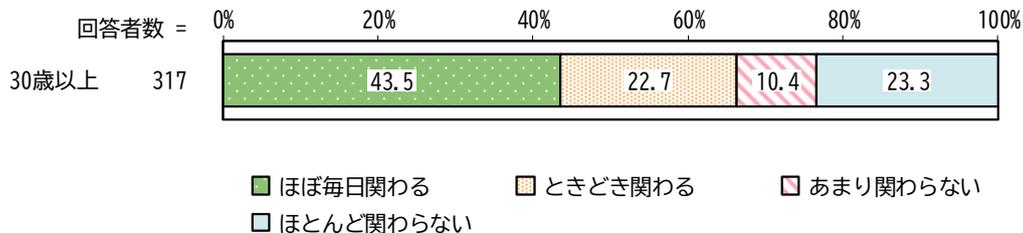
回答者数 = 2,119

■ 小学生世代 ■ 中学生世代 ■ 高校生世代
■ 19歳～22歳 ■ 23歳～25歳 ■ 26歳～29歳

(2) あなたは日常的または定期的に子ども・若者と関わりがありますか。〈単数回答〉【おとな (30歳以上)】

「ほぼ毎日関わる」の割合が43.5%と最も高く、次いで「ほとんど関わらない」の割合が23.3%となっています。

【30歳以上】

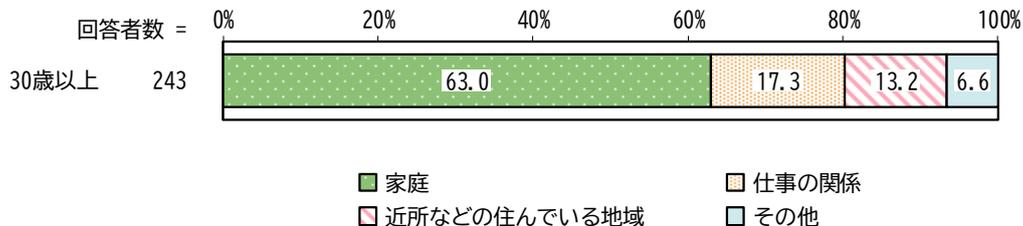


(3) は、(2) で「1. ほぼ毎日関わる」「2. ときどき関わる」「3. あまり関わらない」に○をつけた方にうかがいます。

(3) 子ども・若者と関わりがあるのはどこですか。〈単数回答〉【おとな (30歳以上)】

「家庭」の割合が63.0%と最も高く、次いで「仕事の関係」の割合が17.3%となっています。

【30歳以上】



2 意見表明することについて

(1) お子さんは家庭や学校、幼稚園、保育所、習い事、地域などで自分の意見や考えを言えていると思いますか？もしくは身振りや手振り、表情、イラストや文字などで伝えようとしていますか？〈単数回答〉 【こども（0～8歳）】

日常生活であなたに関係することについて何かを決めるとき、自分の意見や考えをおとなや年長者に言えていますか？〈単数回答〉 【こども・若者（9～29歳）】

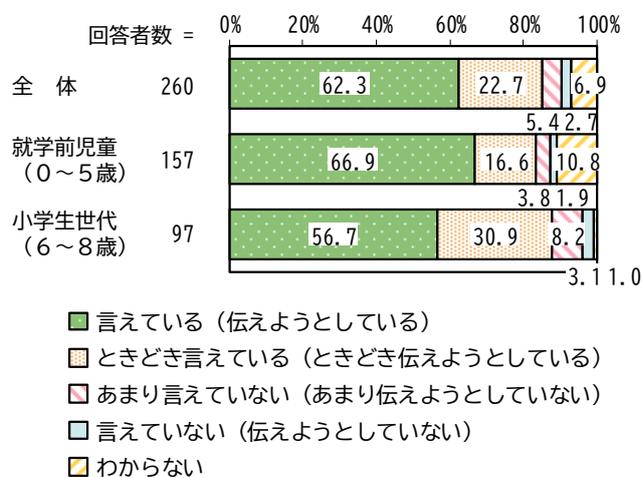
日常生活であなたに関わりのあるこども・若者は、自らに関係することについて何かを決めるとき、おとなに意見や考えを言えていると思いますか？〈単数回答〉 【おとな（30歳以上）】

こども（0～8歳）の調査では、「言えている（伝えようとしている）」の割合が62.3%と最も高く、次いで「ときどき言えている（ときどき伝えようとしている）」の割合が22.7%となっています。

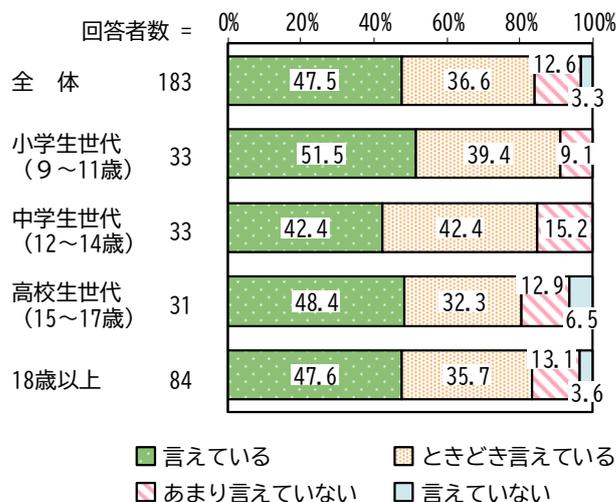
こども・若者（9～29歳）の調査では、「言えている」の割合が47.5%と最も高く、次いで「ときどき言えている」の割合が36.6%となっています。

おとな（30歳以上）の調査では、「言えている」の割合が33.8%と最も高く、次いで「ときどき言えている」の割合が30.6%となっています。

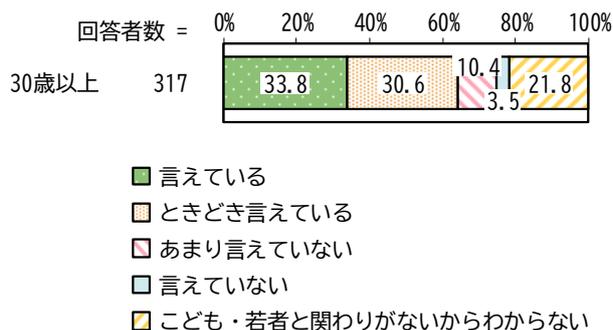
【こども（0～8歳）】



【こども・若者（9～29歳）】



【30歳以上】



(1)で「1. 言えている(伝えようとしている)」または「2. ときどき言えている(ときどき伝えようとしている)」に○をつけた方にうかがいます。

(2) お子さんが自分の意見や考えを言おう(伝えよう)と思った理由は何だと思えますか？

〈最大3つまで〉

【こども(0~8歳)】

自分の意見や考えを言おうと思った理由は何ですか？〈最大3つまで〉

【こども・若者(9~29歳)】

こども・若者が自分の意見や考えを言おうと思った理由は何だと思えますか？

〈最大3つまで〉

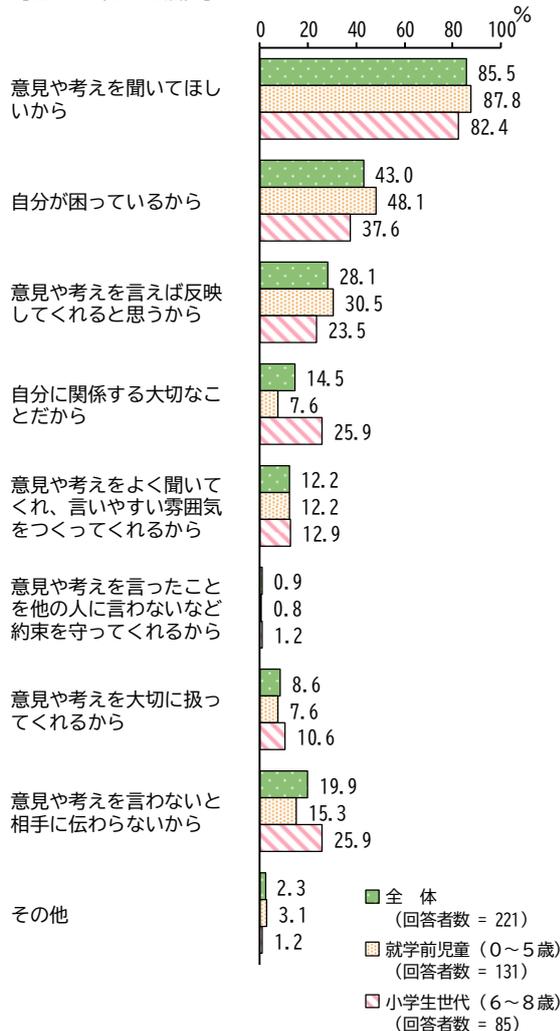
【おとな(30歳以上)】

こども(0~8歳)の調査では、「意見や考えを聞いてほしいから」の割合が85.5%と最も高く、次いで「自分が困っているから」の割合が43.0%となっています。

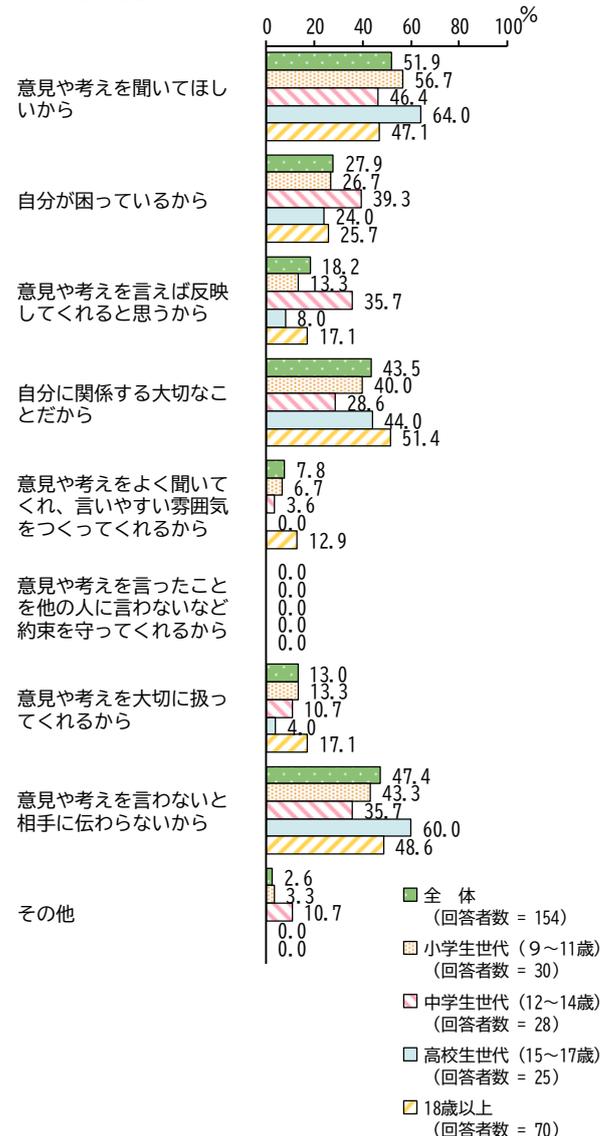
こども・若者(9~29歳)の調査では、「意見や考えを聞いてほしいから」の割合が51.9%と最も高く、次いで「意見や考えを言わないと相手に伝わらないから」の割合が47.4%となっています。

おとな(30歳以上)の調査では、「意見や考えを聞いてほしいから」の割合が63.7%と最も高く、次いで「意見や考えを言えば反映してくれると思うから」の割合が36.3%となっています。

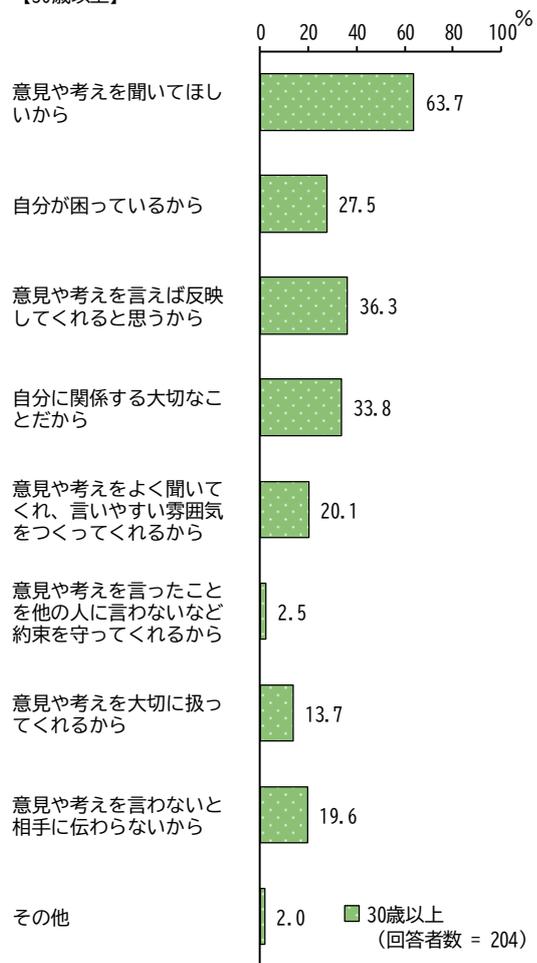
【こども(0~8歳)】



【こども・若者(9~29歳)】



【30歳以上】



(3)～(4)は、(1)で「3. あまり言えていない(あまり伝えようとしていない)」または「4. 言えていない(伝えようとしていない)」に○をつけた方にうかがいます。

(3) お子さんが自分の意見や考えを言えていない(伝えていない)理由は何だと思いますか？
 【子ども(0～8歳)】
 〈最大3つまで〉

言えていない理由は何ですか？〈最大3つまで〉 【子ども・若者(9～29歳)】

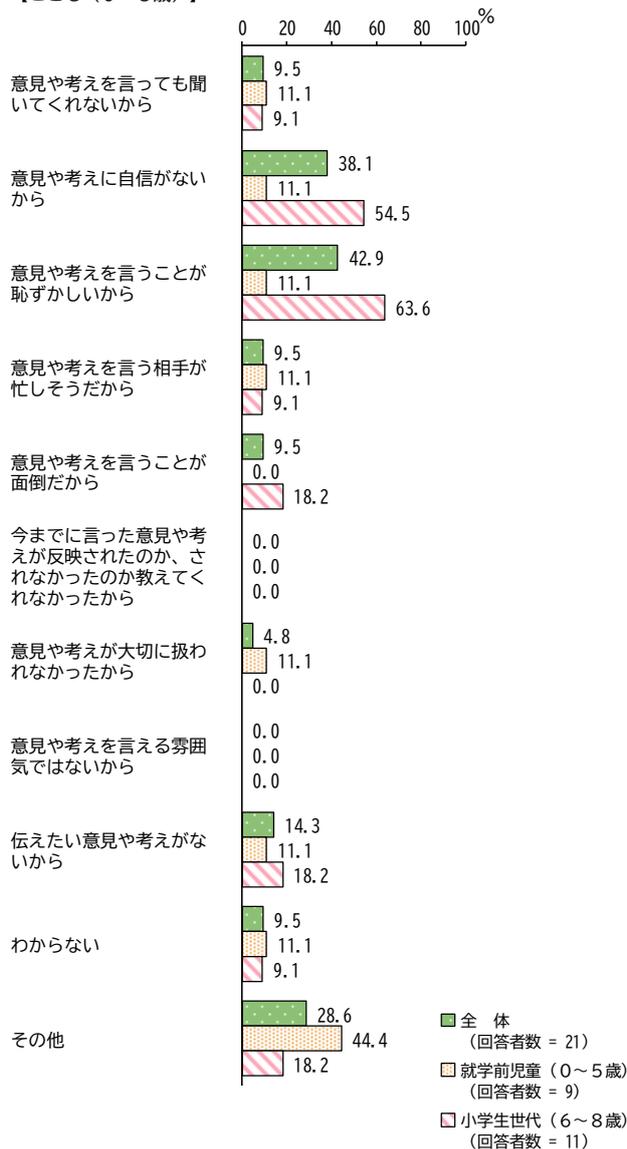
子ども・若者が自分の意見や考えを言えていない理由は何だと思いますか？
 【おとな(30歳以上)】
 〈最大3つまで〉

子ども(0～8歳)の調査では、「意見や考えを言うことが恥ずかしいから」の割合が42.9%と最も高く、次いで「意見や考えに自信がないから」の割合が38.1%となっています。

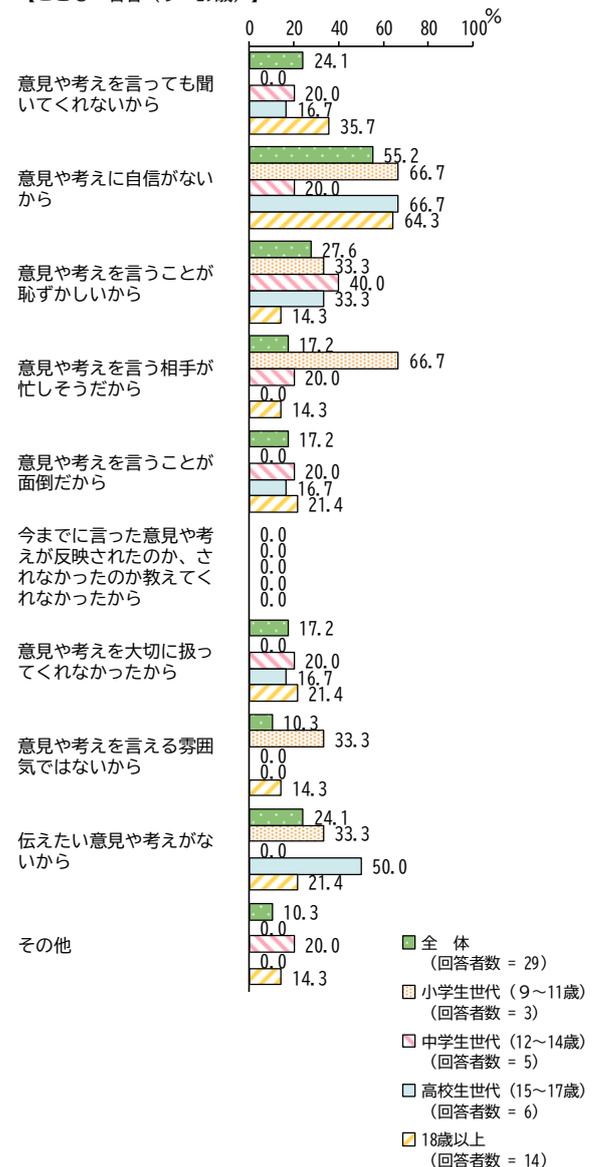
子ども・若者(9～29歳)の調査では、「意見や考えに自信がないから」の割合が55.2%と最も高く、次いで「意見や考えを言うことが恥ずかしいから」の割合が27.6%となっています。

おとな(30歳以上)の調査では、「意見や考えを言うことが面倒だから」の割合が25.0%と最も高く、次いで「意見や考えを言っても聞いてくれないから」の割合が22.7%となっています。

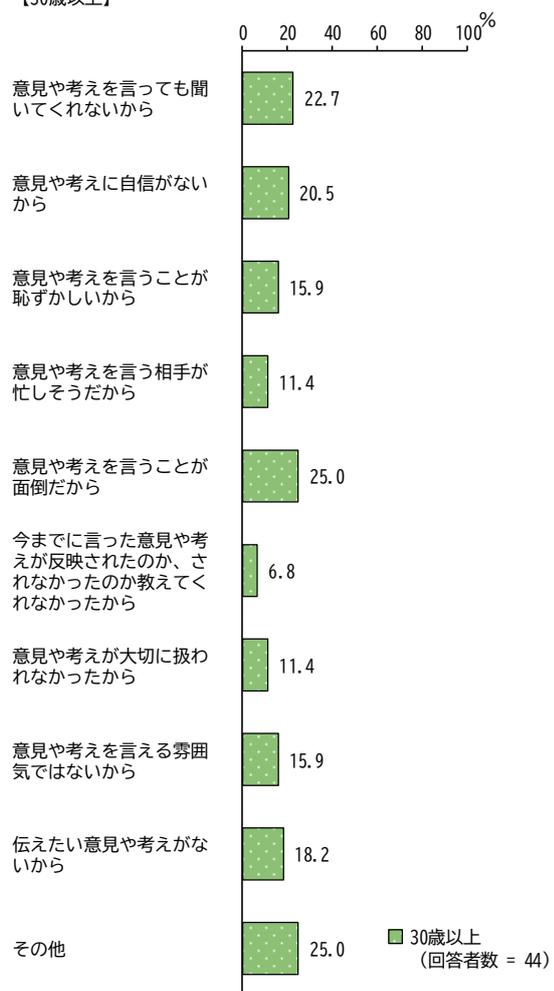
【子ども(0～8歳)】



【子ども・若者(9～29歳)】



【30歳以上】



3 おとなや年長者の対応について

(1) お子さんに関わりのあるおとな（学校、幼稚園、保育所、習い事、地域など）は、お子さんの意見や考えを聞こうとしていると思いますか？もしくは身振りや手振り、表情、イラストや文字などで伝えようとしたことを汲み取ろうとしていると思いますか？〈単数回答〉

【こども（0～8歳）】

あなたが関係することについて、おとなや年長者はあなたの意見や考えを聞こうとしていると思いますか？〈単数回答〉

【こども・若者（9～29歳）】

あなたはこども・若者に関係することについて、こども・若者の意見や考えを聞こうとしていますか？〈単数回答〉

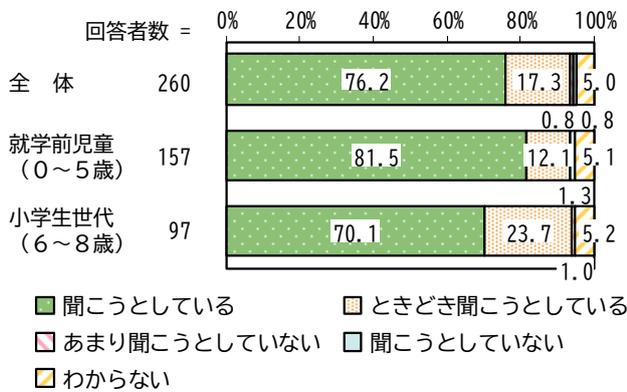
【おとな（30歳以上）】

こども（0～8歳）の調査では、「聞こうとしている」の割合が76.2%と最も高く、次いで「ときどき聞こうとしている」の割合が17.3%となっています。

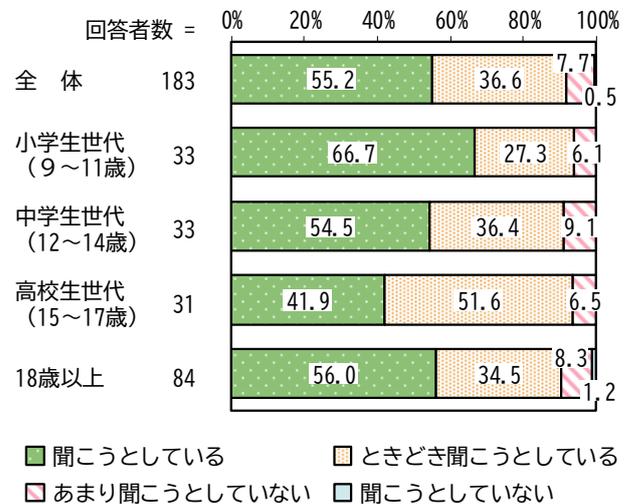
こども・若者（9～29歳）の調査では、「聞こうとしている」の割合が55.2%と最も高く、次いで「ときどき聞こうとしている」の割合が36.6%となっています。

おとな（30歳以上）の調査では、「聞こうとしている」の割合が64.4%と最も高く、次いで「こども・若者と関わりがないからわからない」の割合が17.7%となっています。

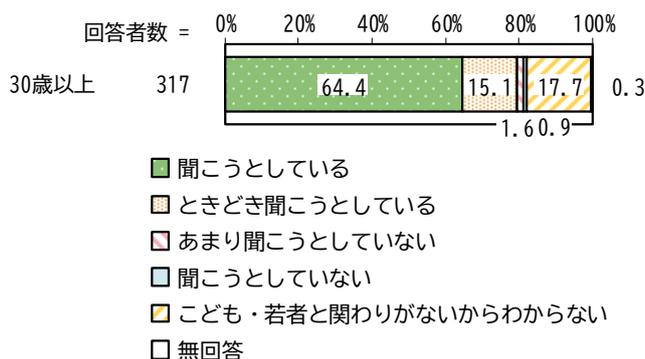
【こども（0～8歳）】



【こども・若者（9～29歳）】



【30歳以上】



(2) は、(1) で「1. 聞こうとしている」「2. ときどき聞こうとしている」「3. あまり聞こうしていない」に○をつけた方にうかがいます。

(2) お子さんに関わりのあるおとな（家庭や学校、幼稚園、保育所、習い事、地域など）はお子さんの意見や考え、身振りや手振り、表情、イラストや文字などで伝えようとしたことについて、真剣に考え、大切に扱っていると思いますか？〈単数回答〉 【子ども（0～8歳）】

おとなや年長者はあなたの意見や考えを真剣に聞いて、大切に扱っていると思いますか？〈単数回答〉 【子ども・若者（9～29歳）】

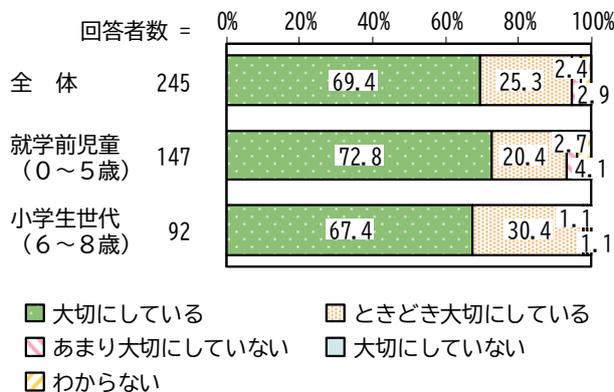
子ども・若者から聞いた意見や考えを真剣に聞いて、大切に扱っていますか？〈単数回答〉 【おとな（30歳以上）】

子ども（0～8歳）の調査では、「大切にしている」の割合が69.4%と最も高く、次いで「ときどき大切にしている」の割合が25.3%となっています。

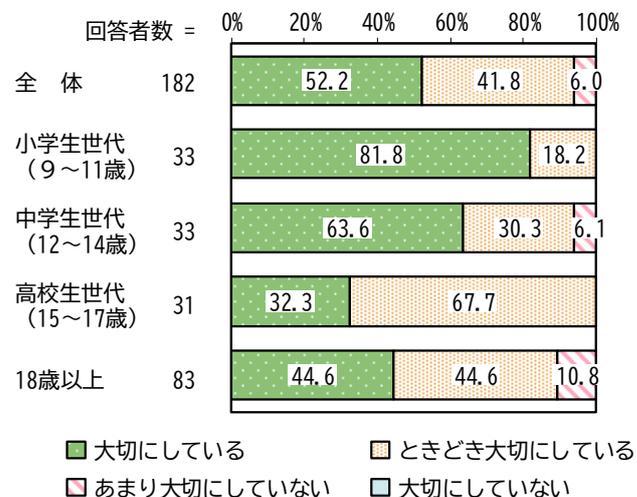
子ども・若者（9～29歳）の調査では、「大切にしている」の割合が52.2%と最も高く、次いで「ときどき大切にしている」の割合が41.8%となっています。

おとな（30歳以上）の調査では、「大切にしている」の割合が77.4%と最も高く、次いで「ときどき大切にしている」の割合が22.6%となっています。

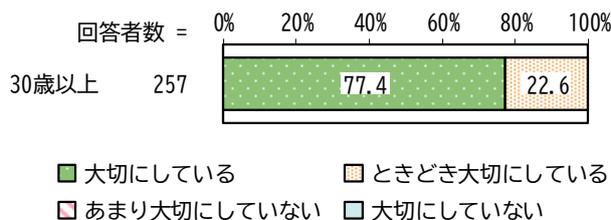
【子ども（0～8歳）】



【子ども・若者（9～29歳）】



【30歳以上】



(3) お子さんが自分の言った(伝えた)意見や考えが大切にされていると感じるのはどのようなときだと思いますか? (最大3つまで) 【こども(0~8歳)】

あなたは自分の言った意見や考えが大切にされていると感じるのはどのようなときですか? (最大3つまで) 【こども・若者(9~29歳)】

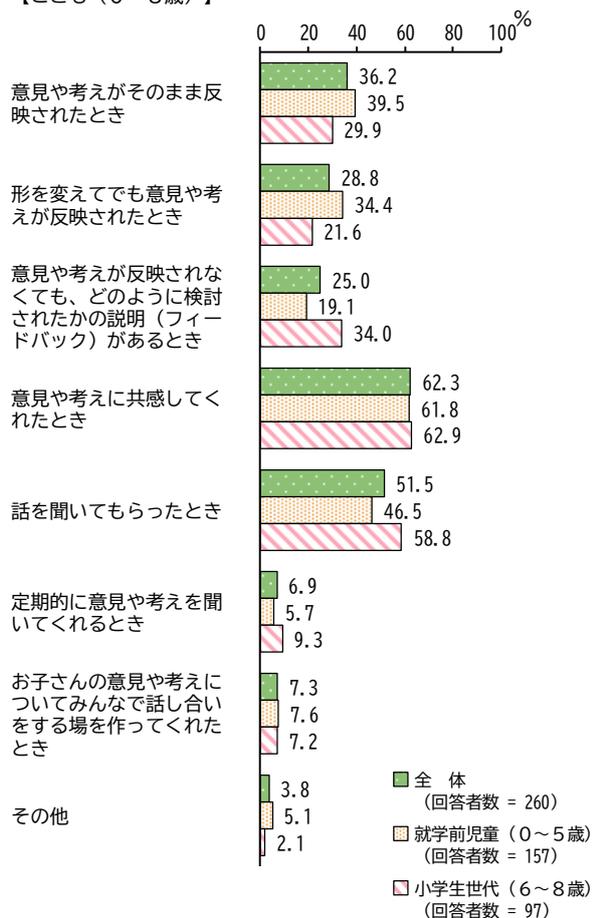
こども・若者が自分の言った意見や考えが大切にされていると感じるのはどのようなときだと思いますか? (最大3つまで) 【おとな(30歳以上)】

こども(0~8歳)の調査では、「意見や考えに共感してくれたとき」の割合が62.3%と最も高く、次いで「話を聞いてもらったとき」の割合が51.5%となっています。

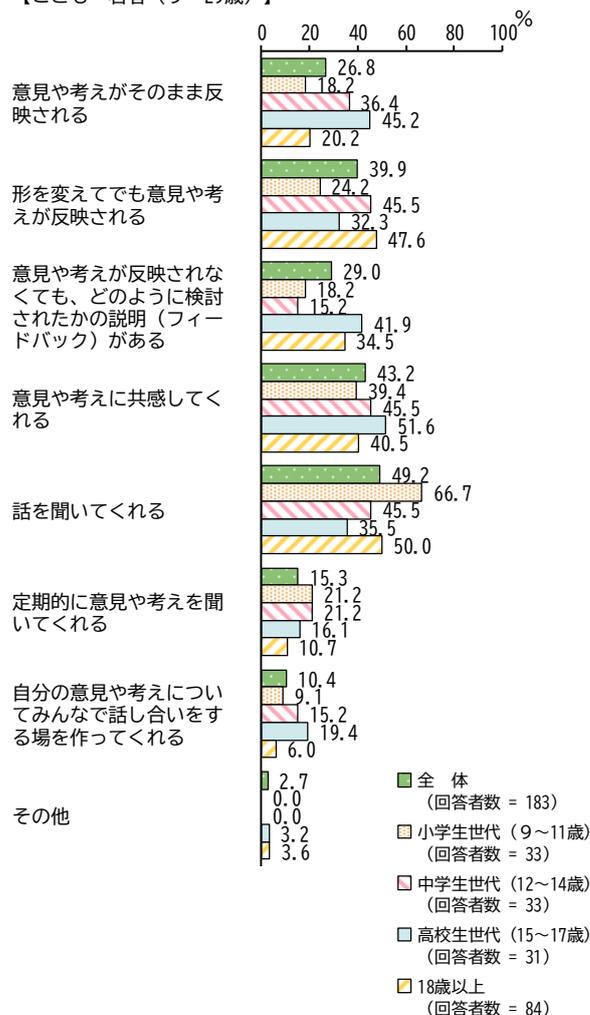
こども・若者(9~29歳)の調査では、「話を聞いてくれる」の割合が49.2%と最も高く、次いで「意見や考えに共感してくれる」の割合が43.2%となっています。

おとな(30歳以上)の調査では、「意見や考えに共感したとき」の割合が46.1%と最も高く、次いで「形を変えてでも意見や考えが反映されたとき」の割合が42.3%となっています。

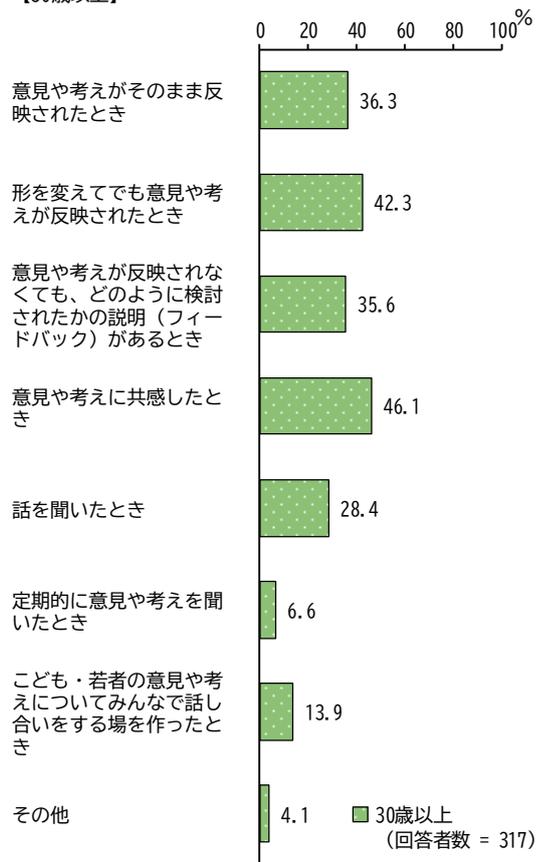
【こども(0~8歳)】



【こども・若者(9~29歳)】



【30歳以上】



(4) お子さん自身に関する事について、お子さんが意見や考えを言いやすくするために必要なことは何だと思えますか？〈最大3つまで〉 【こども (0~8歳)】

あなたが関係する事について、意見や考えを言いやすくために求めることは何ですか？〈最大3つまで〉 【こども・若者 (9~29歳)】

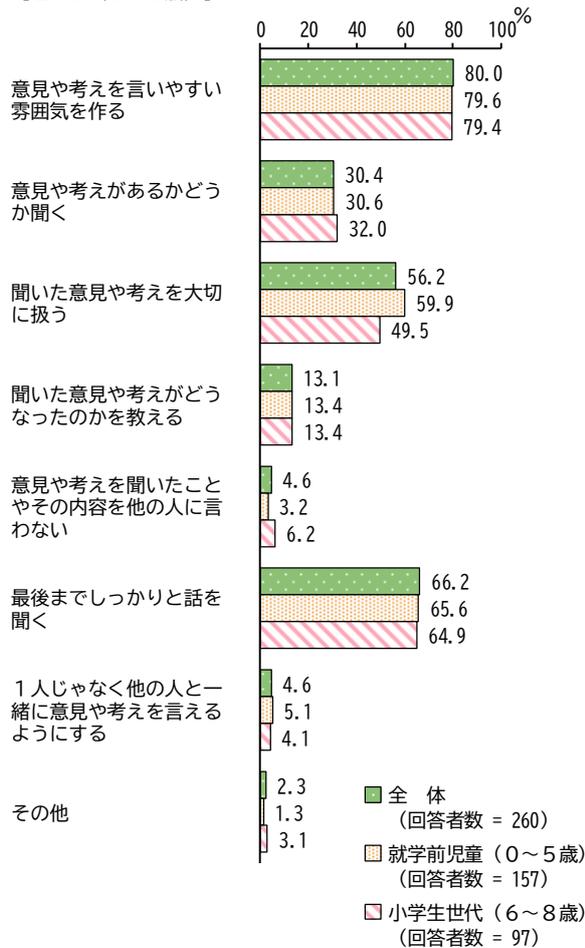
こども・若者が意見や考えを言いやすくために、必要なことは何だと思えますか？〈最大3つまで〉 【おとな (30歳以上)】

こども (0~8歳) の調査では、「意見や考えを言いやすい雰囲気を作る」の割合が80.0%と最も高く、次いで「最後までしっかりと話を聞く」の割合が66.2%となっています。

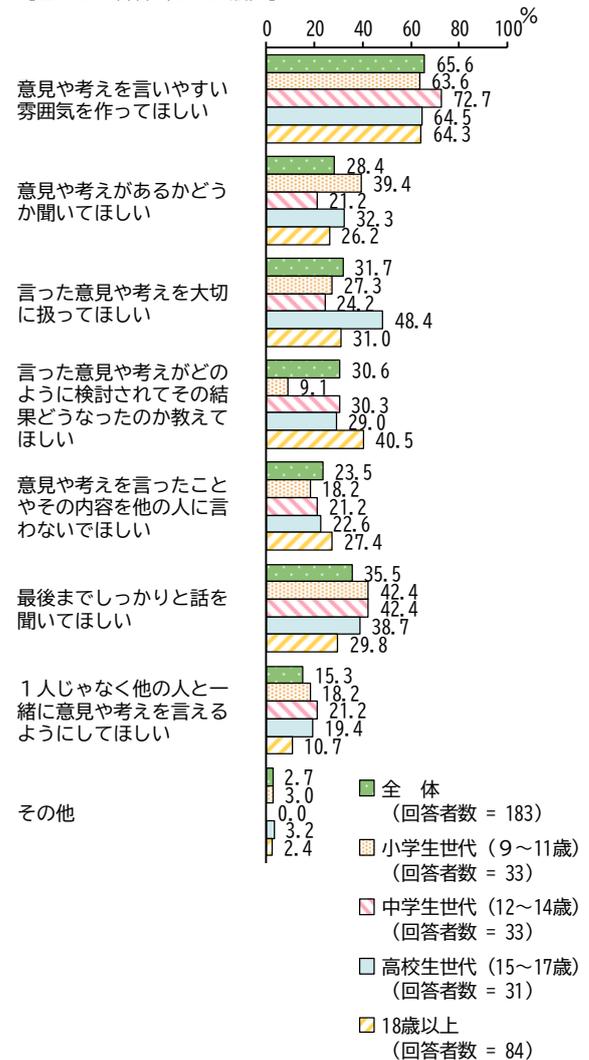
こども・若者 (9~29歳) の調査では、「意見や考えを言いやすい雰囲気を作ってほしい」の割合が65.6%と最も高く、次いで「最後までしっかりと話を聞いてほしい」の割合が35.5%となっています。

おとな (30歳以上) の調査では、「意見や考えを言いやすい雰囲気を作る」の割合が68.5%と最も高く、次いで「最後までしっかりと話を聞く」の割合が54.3%となっています。

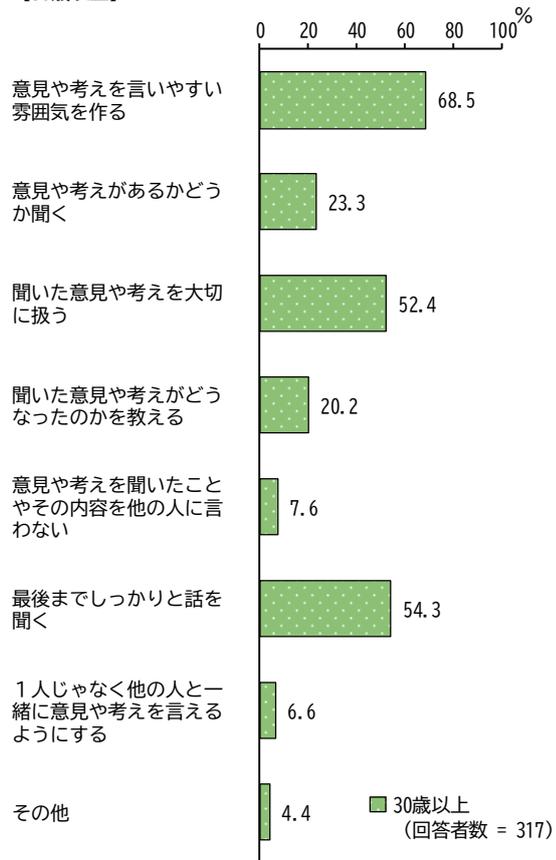
【こども (0~8歳)】



【こども・若者 (9~29歳)】



【30歳以上】



4 市や施設への意見について

(1)～(2)は、回答者である保護者のお考えを回答してください。【子ども(0～8歳)】

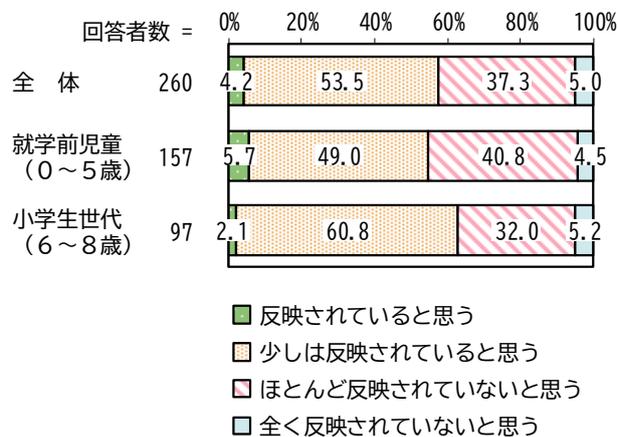
(1) 子ども・若者の意見や考えが、社会やまちづくりに反映されていると思いますか？
 〈単数回答〉 【子ども(0～8歳)・子ども・若者(9～29歳)・おとな(30歳以上)】

子ども(0～8歳)の調査では、「少しは反映されていると思う」の割合が53.5%と最も高く、次いで「ほとんど反映されていないと思う」の割合が37.3%となっています。

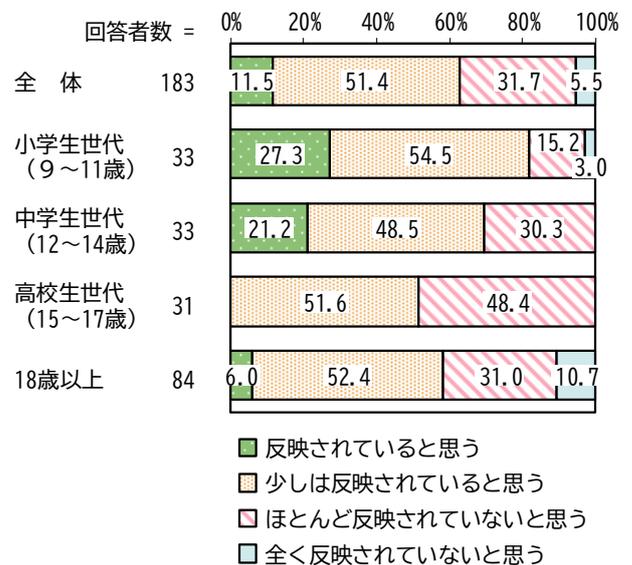
子ども・若者(9～29歳)の調査では、「少しは反映されていると思う」の割合が51.4%と最も高く、次いで「ほとんど反映されていないと思う」の割合が31.7%となっています。

おとな(30歳以上)の調査では、「少しは反映されていると思う」の割合が47.0%と最も高く、次いで「ほとんど反映されていないと思う」の割合が42.0%となっています。

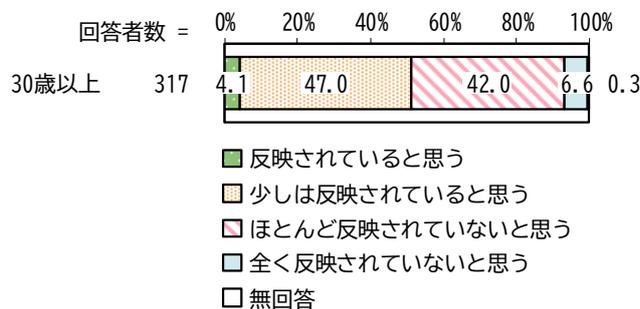
【子ども(0～8歳)】



【子ども・若者(9～29歳)】



【30歳以上】



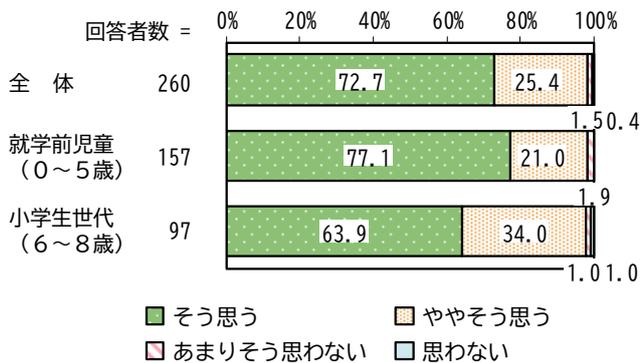
(2) まちづくりや市の取り組みなどに、子ども・若者の意見や考えを活かしていく必要があると思いますか？〈単数回答〉 【子ども(0～8歳)・子ども・若者(9～29歳)・おとな(30歳以上)】

子ども(0～8歳)の調査では、「そう思う」の割合が72.7%と最も高く、次いで「ややそう思う」の割合が25.4%となっています。

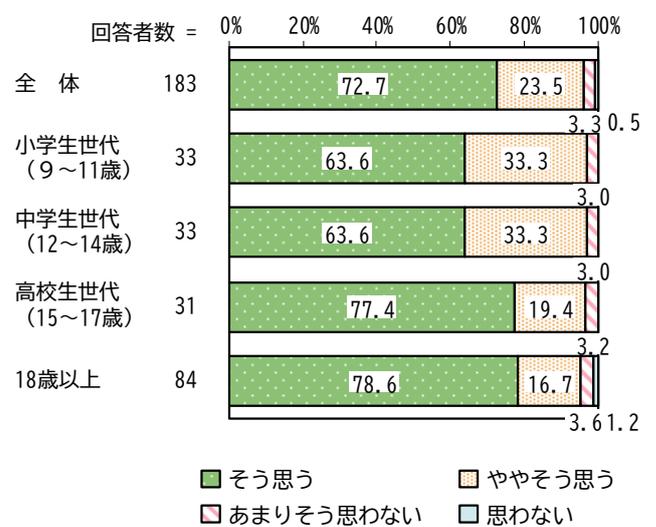
子ども・若者(9～29歳)の調査では、「そう思う」の割合が72.7%と最も高く、次いで「ややそう思う」の割合が23.5%となっています。

おとな(30歳以上)の調査では、「そう思う」の割合が63.7%と最も高く、次いで「ややそう思う」の割合が30.6%となっています。

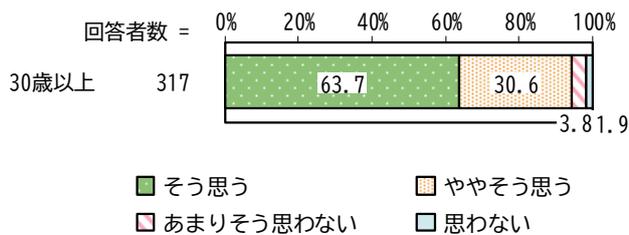
【子ども(0～8歳)】



【子ども・若者(9～29歳)】



【30歳以上】



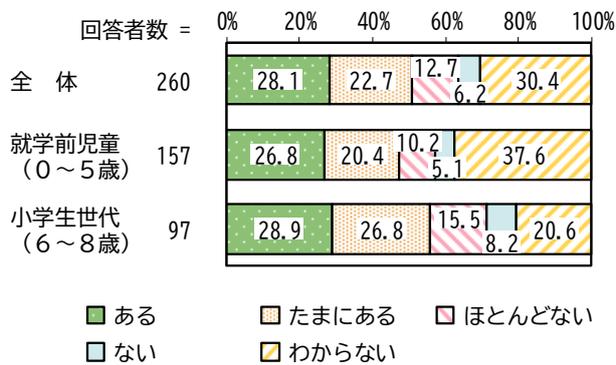
(3) 川西市のまちづくりや子ども・若者に関する市の取り組み、施設や事業などに対して、お子さんが言いたいことはあると思いますか？〈単数回答〉 【子ども（0～8歳）】

川西市のまちづくりや子ども・若者に関する市の取り組み、施設や事業などに対して、言いたいことはありますか？〈単数回答〉 【子ども・若者（9～29歳）】

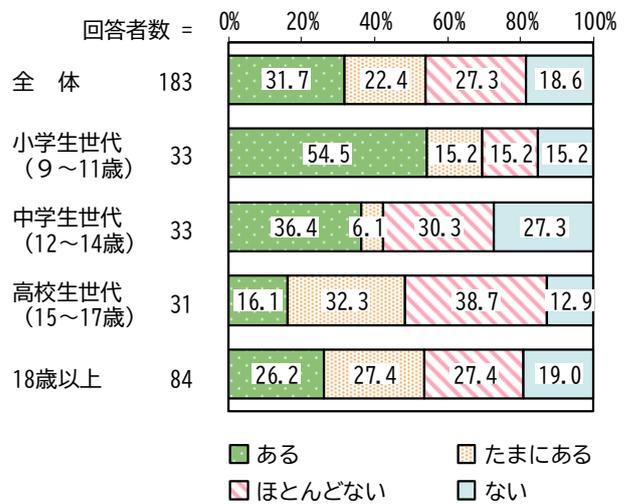
子ども（0～8歳）の調査では、「わからない」の割合が30.4%と最も高く、次いで「ある」の割合が28.1%となっています。

子ども・若者（9～29歳）の調査では、「ある」の割合が31.7%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が27.3%となっています。

【子ども（0～8歳）】



【子ども・若者（9～29歳）】



(4) は、(3) で「1. ある」または「2. たまにある」に○をつけた方にうかがいます。

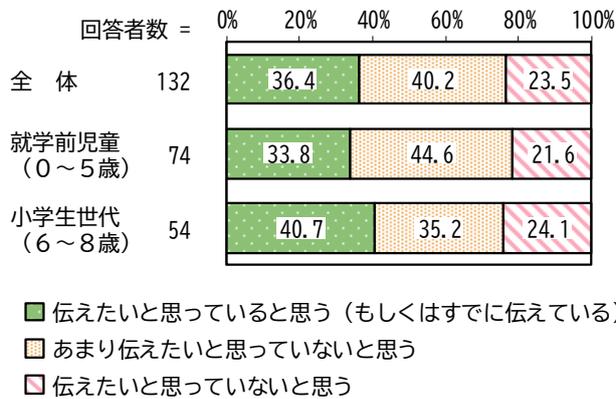
(4) お子さんは自分が言いたいことを市や施設へ伝えたいと思っていますか？
 〈単数回答〉 【こども (0～8歳)】

言いたいことを市や施設へ伝えようと思いますか？ 〈単数回答〉
 【こども・若者 (9～29歳)】

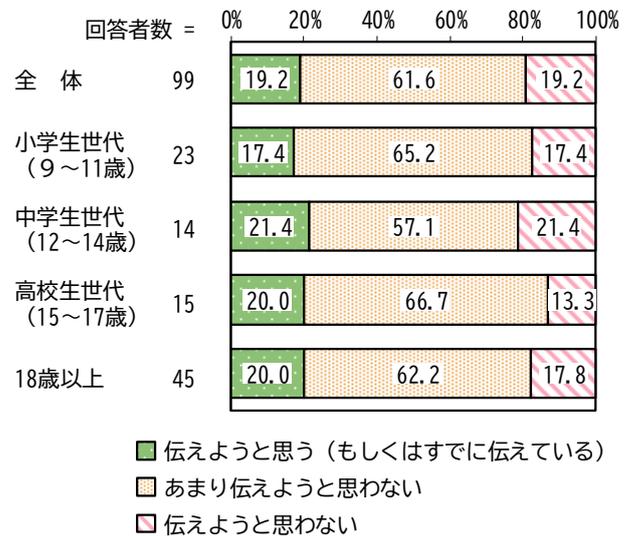
こども (0～8歳) の調査では、「あまり伝えたいと思っていないと思う」の割合が40.2%と最も高く、次いで「伝えたいと思っていると思う (もしくはすでに伝えている)」の割合が36.4%となっています。

こども・若者 (9～29歳) の調査では、「あまり伝えようと思わない」の割合が61.6%と最も高く、次いで「伝えようと思う (もしくはすでに伝えている)」、「伝えようと思わない」の割合が19.2%となっています。

【こども (0～8歳)】

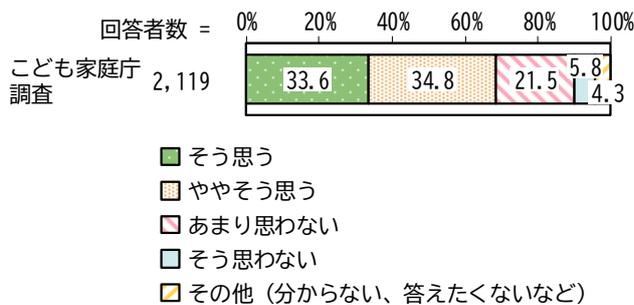


【こども・若者 (9～29歳)】



【参考 (こども家庭庁調査)】

問 あなたは、国や自治体の制度や政策について
 思ったことや意見を、国や自治体に伝えたい
 と思いますか。



(5) は、(4) で「2. あまり伝えたいと思っていないと思う (あまり伝えようと思わない)」または「3. 伝えたいと思っていないと思う (伝えようと思わない)」に○をつけた方にかがいます。

(5) お子さんが川西市のまちづくりや子ども・若者に関する市の取り組み、よく使用する市の施設 (図書館、公園、児童館など) などに対して、言いたいことがあっても、市や施設に伝えようと思わないのはなぜだと思いますか? <最大3つまで> 【子ども (0~8歳)】

あまり伝えようと思わないもしくは伝えようと思わない理由を教えてください。 <最大3つまで> 【子ども・若者 (9~29歳)】

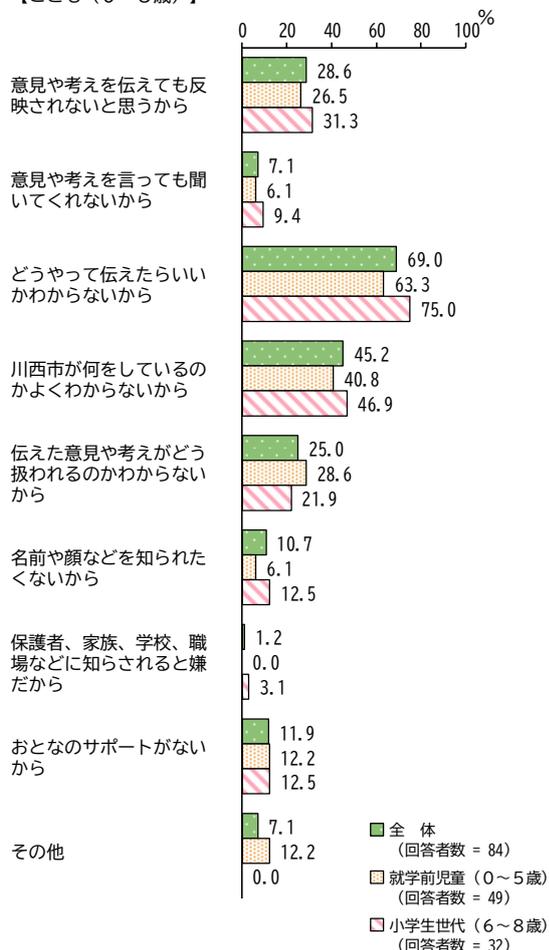
子ども・若者が川西市のまちづくりや子ども・若者に関する市の取り組み、施設や事業などに対して、言いたいことがあっても、伝えようと思わないのであれば、それはなぜだと思いますか? <最大3つまで> 【おとな (30歳以上)】

子ども (0~8歳) の調査では、「どうやって伝えたらいいかわからないから」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「川西市が何をしているのかよくわからないから」の割合が 45.2%となっています。

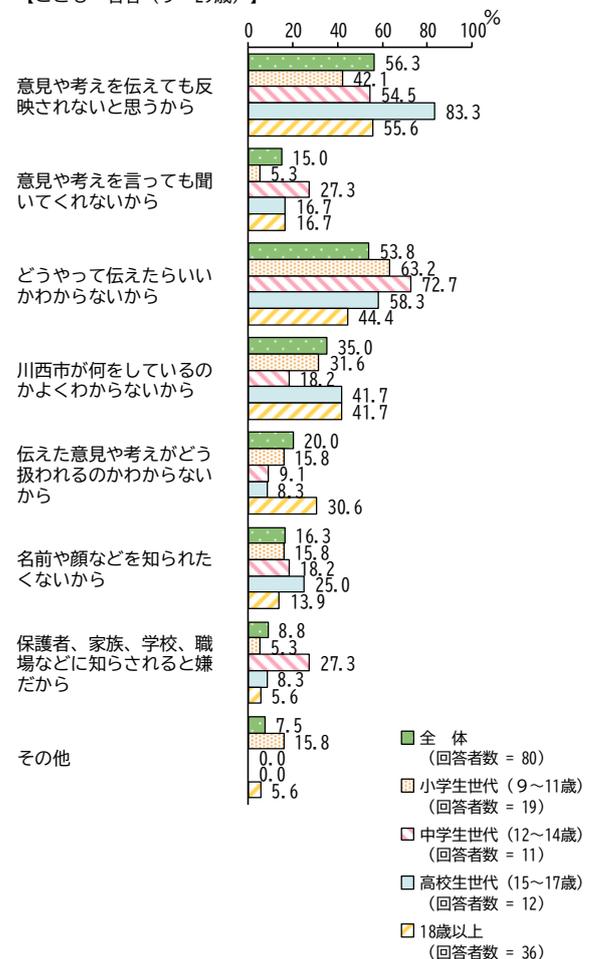
子ども・若者 (9~29歳) の調査では、「意見や考えを伝えても反映されないと思うから」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「どうやって伝えたらいいかわからないから」の割合が 53.8%となっています。

おとな (30歳以上) の調査では、「どうやって伝えたらいいかわからないから」の割合が 67.5%と最も高く、次いで「意見や考えを伝えても反映されないと思うから」の割合が 53.0%となっています。

【子ども (0~8歳)】

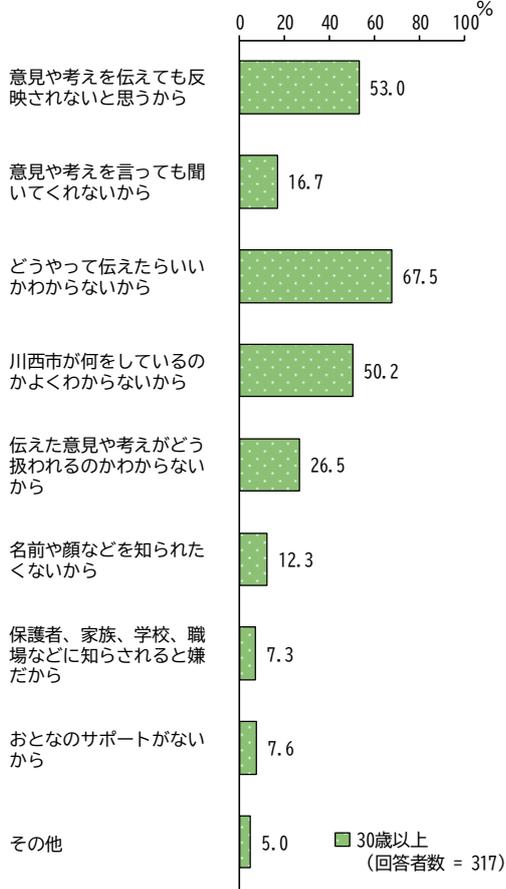


【子ども・若者 (9~29歳)】

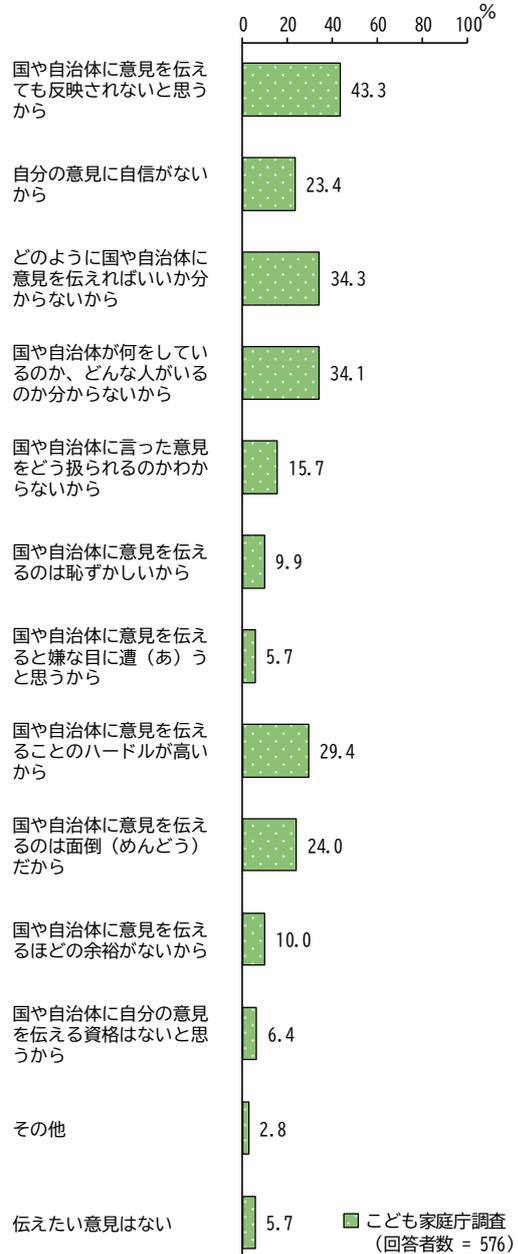


さんこう かていちょうちようさ
【参考（こども家庭庁調査）】

【30歳以上】



問 【前問で「あまり思わない」「そう思わない」と回答した人に対して】 そう答えたのはどうしてですか。当てはまるものを全て選んでください。



(6) 川西市のまちづくりや子ども・若者に関する市の取り組み、よく使用する市の施設（図書館、公園、児童館など）などに対して、言いたいことがあるときに、意見や考えを伝えやすいものは次のうちどれだと思いますか？〈最大3つまで〉

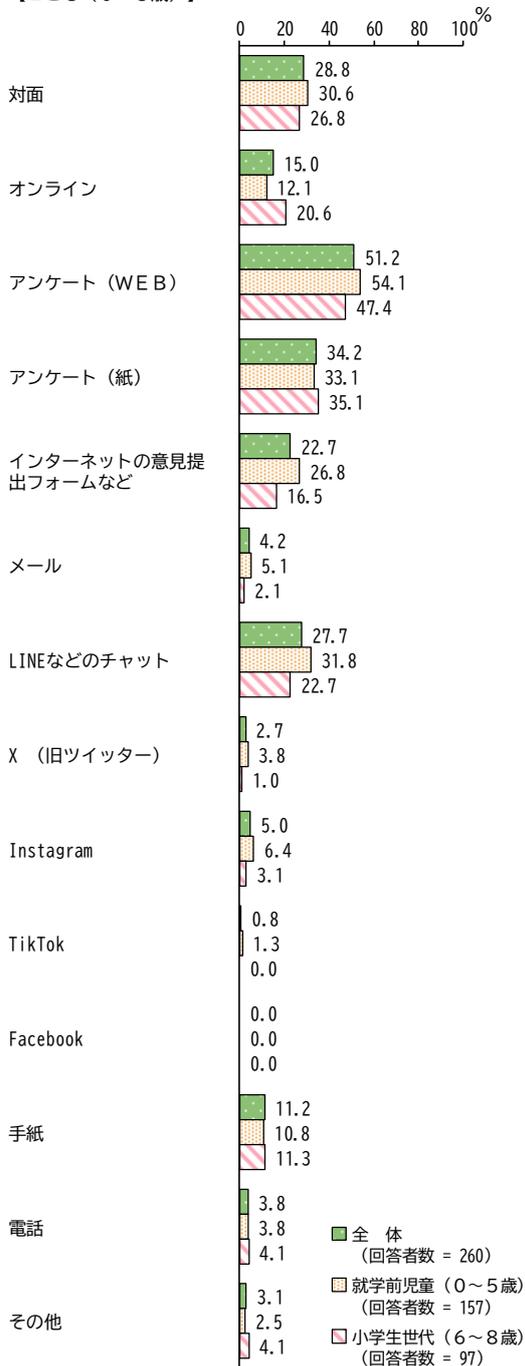
【子ども（0～8歳）・子ども・若者（9～29歳）・おとな（30歳以上）】

子ども（0～8歳）の調査では、「アンケート（WEB）」の割合が51.2%と最も高く、次いで「アンケート（紙）」の割合が34.2%となっています。

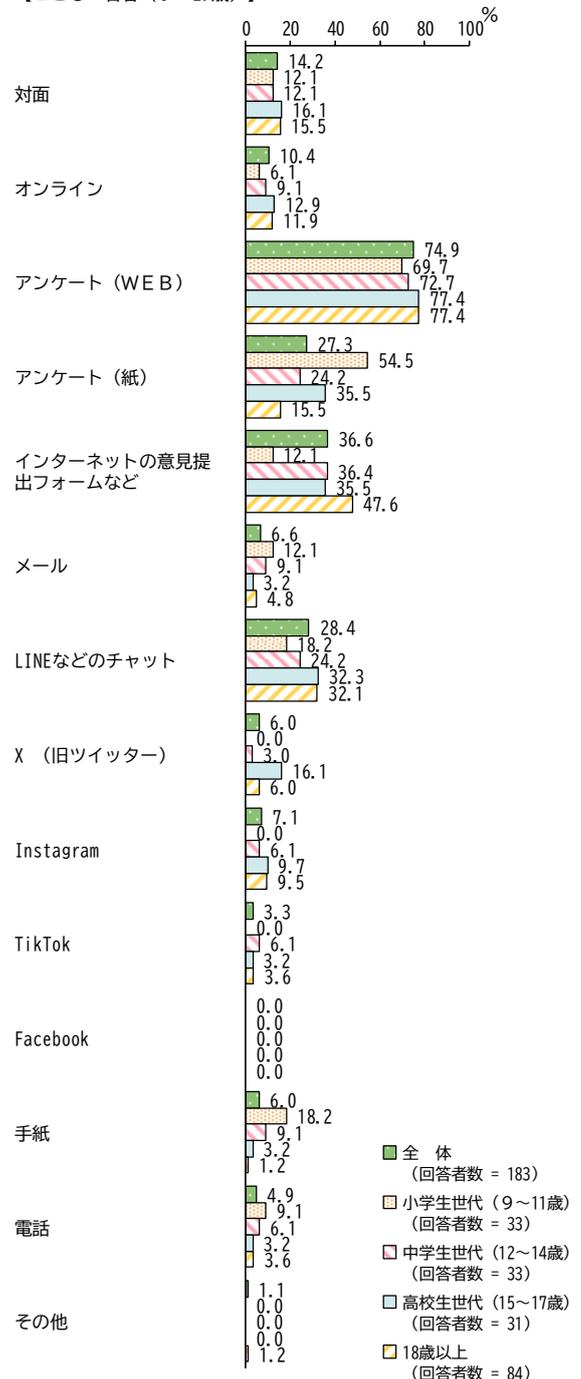
子ども・若者（9～29歳）の調査では、「アンケート（WEB）」の割合が74.9%と最も高く、次いで「インターネットの意見提出フォームなど」の割合が36.6%となっています。

おとな（30歳以上）の調査では、「アンケート（WEB）」の割合が57.1%と最も高く、次いで「インターネットの意見提出フォームなど」の割合が35.6%となっています。

【子ども（0～8歳）】

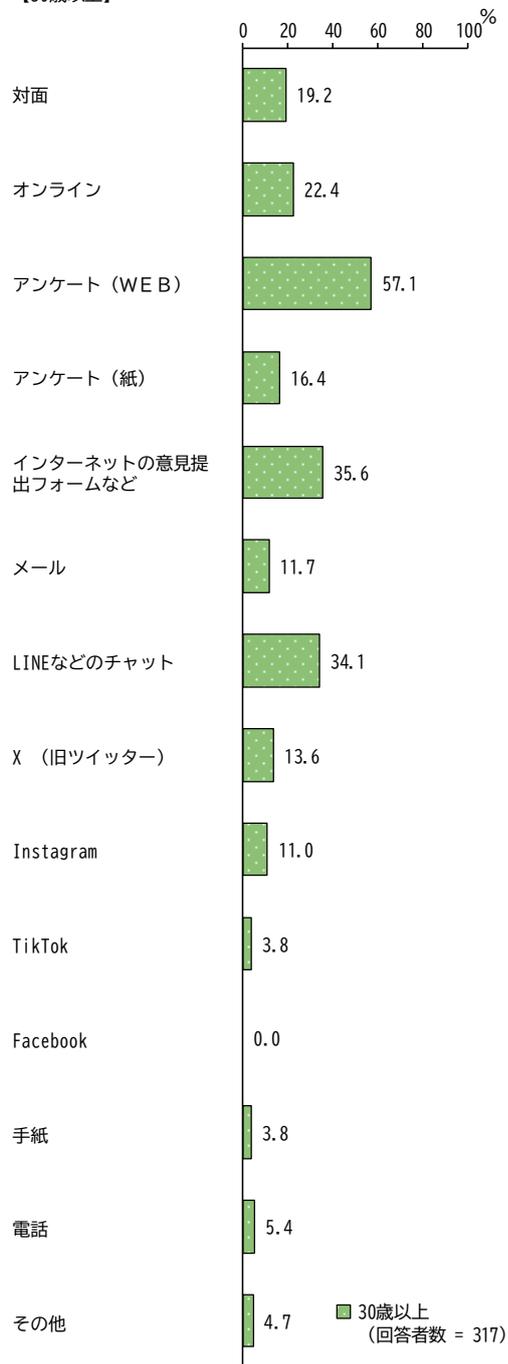


【子ども・若者（9～29歳）】

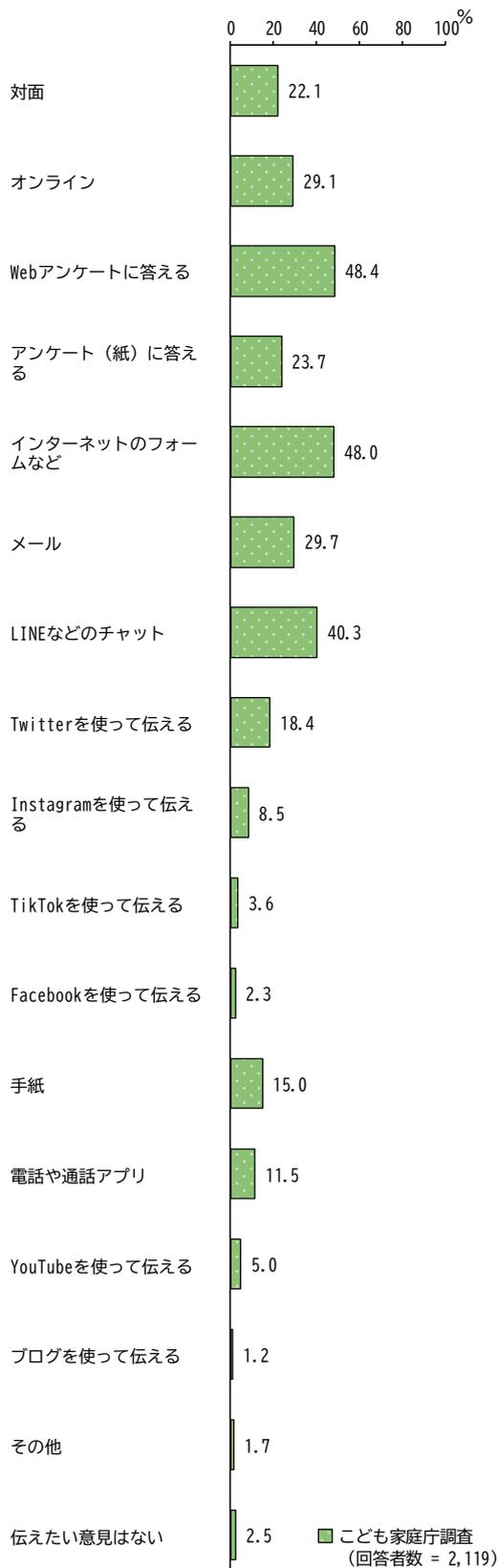


【参考（こども家庭庁調査）】

【30歳以上】



どの方法や手段があれば、あなたは国や自治体に対して意見を伝えやすいですか。当てはまるものを全て選んでください。



(7) 市や施設に意見や考えを言いやすくするために川西市に必要なことは何か？

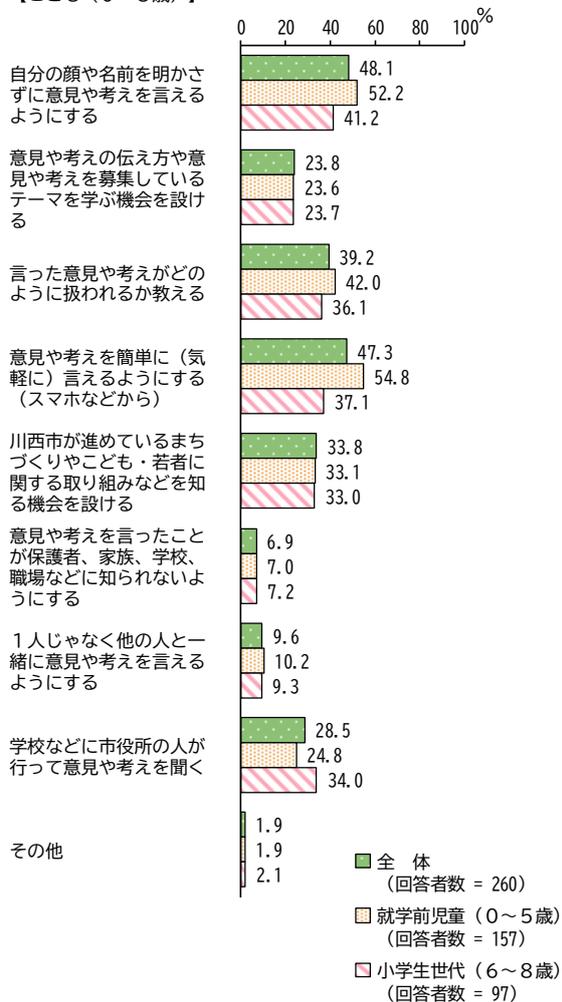
〈最大3つまで〉 【子ども(0～8歳)・子ども・若者(9～29歳)・おとな(30歳以上)】

子ども(0～8歳)の調査では、「自分の顔や名前を明かさずに意見や考えを言えるようにする」の割合が48.1%と最も高く、次いで「意見や考えを簡単に(気軽に)言えるようにする(スマホなどから)」の割合が47.3%となっています。

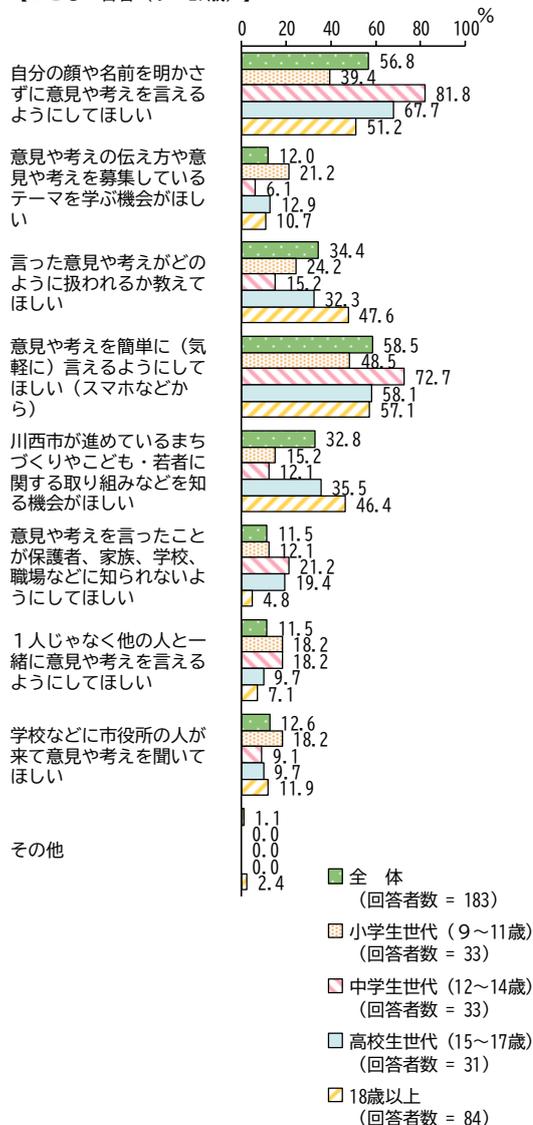
子ども・若者(9～29歳)の調査では、「意見や考えを簡単に(気軽に)言えるようにしてほしい(スマホなどから)」の割合が58.5%と最も高く、次いで「自分の顔や名前を明かさずに意見や考えを言えるようにしてほしい」の割合が56.8%となっています。

おとな(30歳以上)の調査では、「意見や考えを簡単に(気軽に)言えるようにする(スマホなどから)」の割合が53.0%と最も高く、次いで「川西市が進めているまちづくりや子ども・若者に関する取り組みなどを知る機会を設ける」の割合が51.1%となっています。

【子ども(0～8歳)】

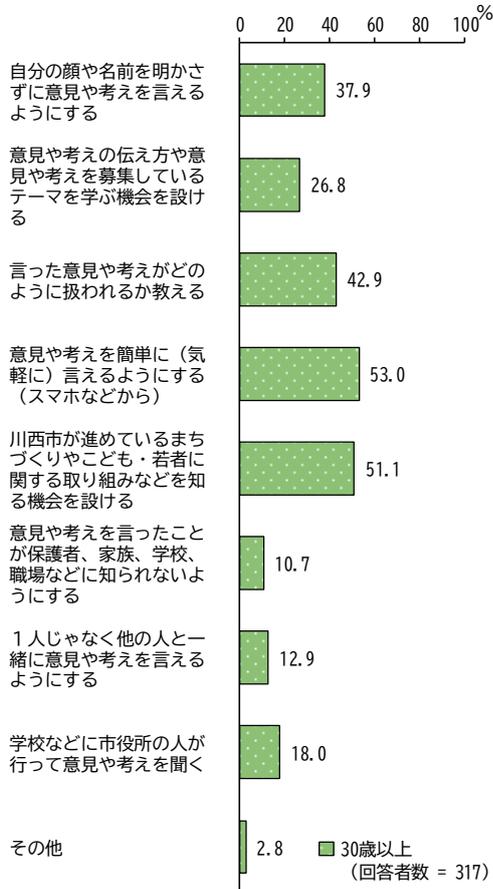


【子ども・若者(9～29歳)】

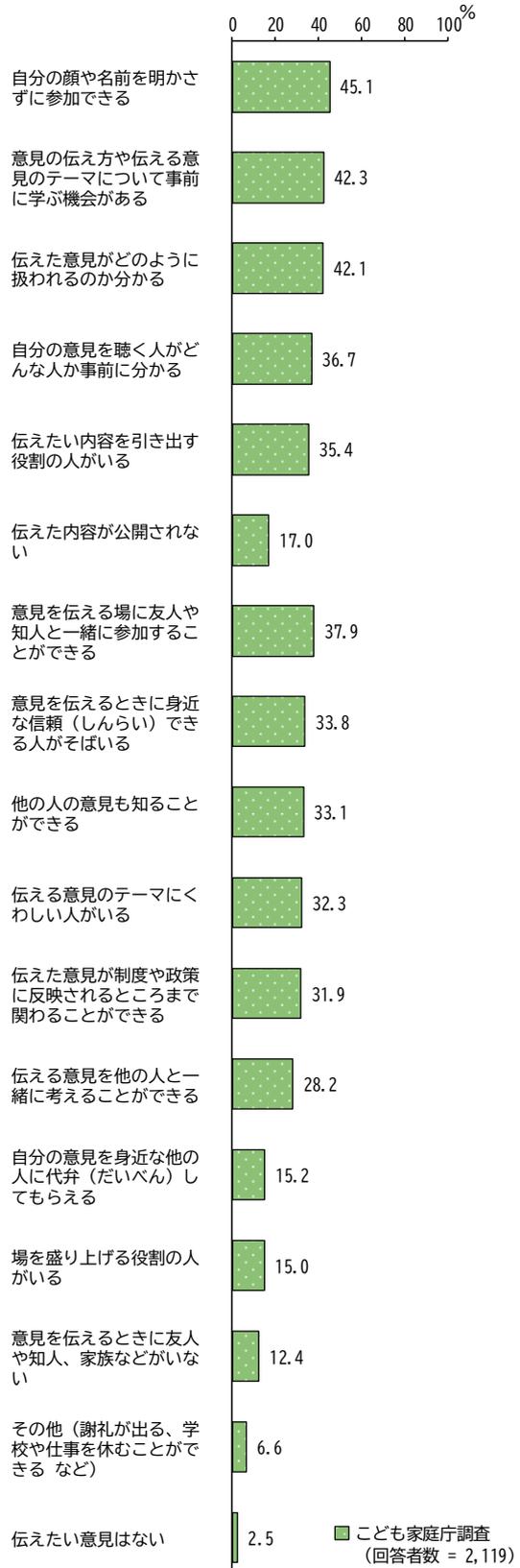


【参考（こども家庭庁調査）】

【30歳以上】



どのような工夫やルールがあれば、あなたは国や自治体に対して意見を伝えやすいと思いますか。



(8) 市のまちづくりや子ども・若者に関する事業やサービス、子ども・若者が利用する施設（例：図書館、公園、児童館等）などに、子ども・若者の意見や考えを反映させるためにはどのようなことが必要と考えますか？〈最大3つまで〉

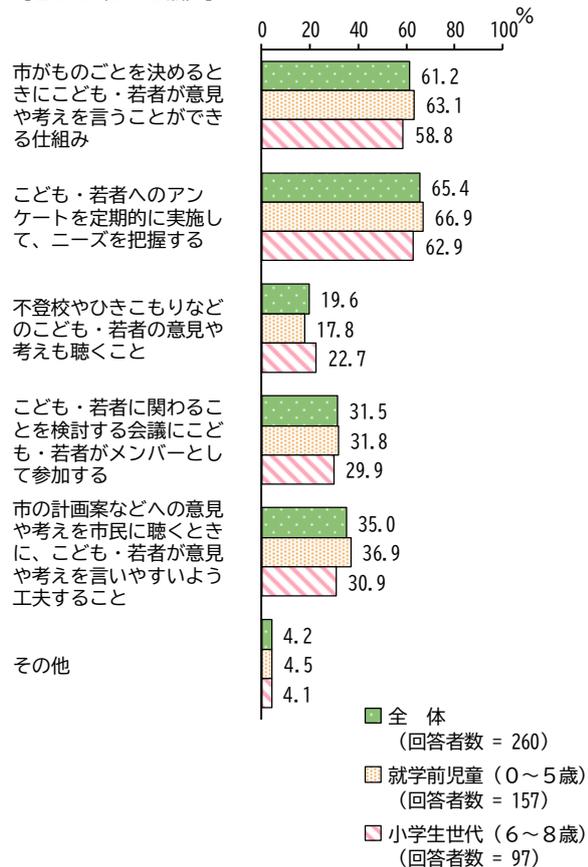
【子ども（0～8歳）・子ども・若者（9～29歳）・おとな（30歳以上）】

子ども（0～8歳）の調査では、「子ども・若者へのアンケートを定期的実施して、ニーズを把握する」の割合が65.4%と最も高く、次いで「市がものごとを決めるときに子ども・若者が意見や考えを言うことができる仕組み」の割合が61.2%となっています。

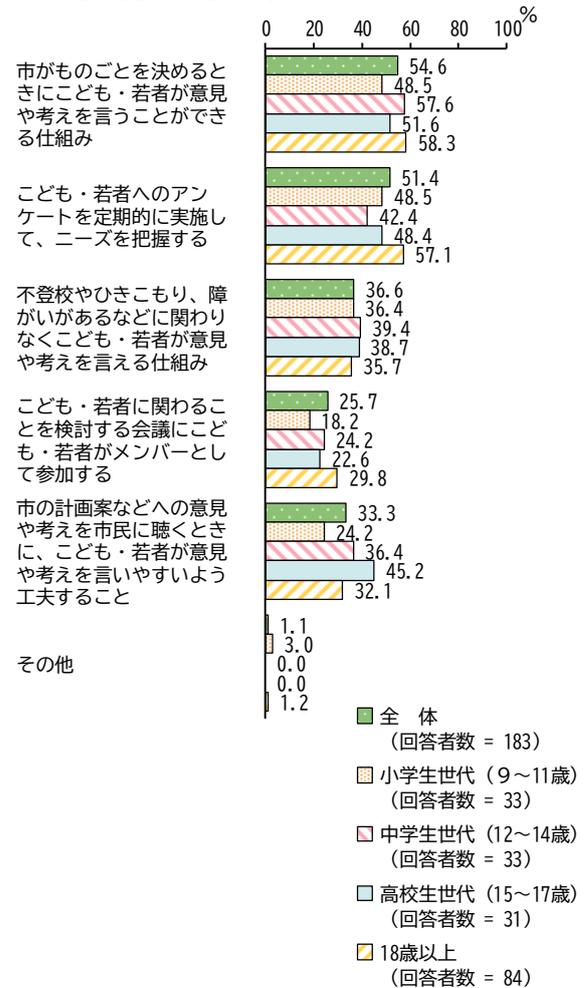
子ども・若者（9～29歳）の調査では、「市がものごとを決めるときに子ども・若者が意見や考えを言うことができる仕組み」の割合が54.6%と最も高く、次いで「子ども・若者へのアンケートを定期的実施して、ニーズを把握する」の割合が51.4%となっています。

おとな（30歳以上）の調査では、「市がものごとを決めるときに子ども・若者が意見や考えを言うことができる仕組み」の割合が64.7%と最も高く、次いで「市の計画案などへの意見や考えを市民に聴くときに、子ども・若者が意見を言いやすいよう工夫すること」の割合が48.3%となっています。

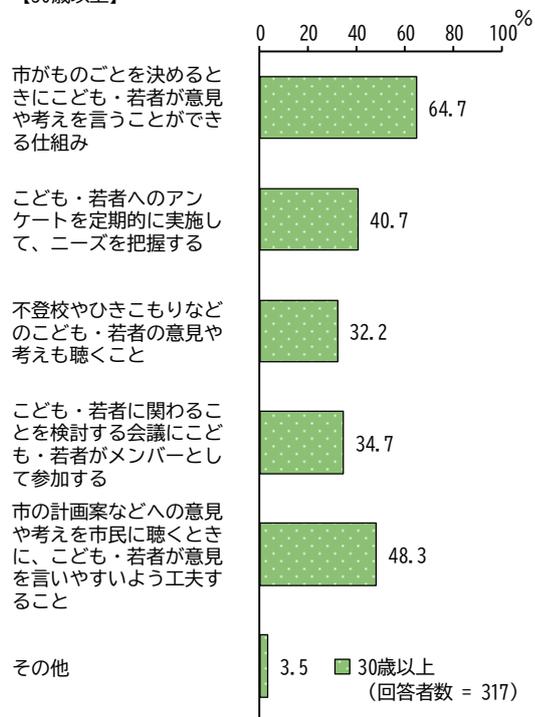
【子ども（0～8歳）】



【子ども・若者（9～29歳）】



【30歳以上】



5 自由記述について

個人が特定されるものや誹謗中傷などを除き、回答原文のまま掲載しています。

1 こども（0～8歳）

2 意見を表明することについて

(4) (3) で選んだ番号の理由、またはその選択肢を選ぶことになった経験について可能であれば、教えてください。（複数記載いただいてもかまいません。）

※ (3) で選んだ選択肢ごとに記載

【選んだ選択肢：意見を言っても聞いてくれないから】

・意見や考えを言っても無視か聞く耳を持ってもらえないから

【選んだ選択肢：意見や考えに自信がないから】

・自分の思っている事が正しいのかと言うことに不安があるため

【選んだ選択肢：意見や考えを言うことが恥ずかしいから】

・人に自分の思っていることを伝えることが苦手であるため

・置き傘を持ってくるよう学校から連絡があった為何度か持たせたが置き場所が分からないけど聞くのが恥ずかしいという理由で毎回持ち帰ってきてしまった

【選んだ選択肢：意見や考えを言う相手が忙しそうだから】

・子どもの意見を聞く時間がなく自分の事で忙しそうだから

・先生が忙しそうにしていると遠慮してしまうようです。

【選んだ選択肢：意見や考えが大切に扱われなかったから】

・言っても毎回大切にされず何も変わらないか逆に怒られるから

【選んだ番号：伝えたい意見や考えがないから】

・まだ0歳だから

・言われた事をしてきたので、こうしたい、ああしたいという考えが思いつかない。

【選んだ番号：意見や考えに自信がないから、意見や考えを言うことが恥ずかしいから】

・授業で拳手などは出来ますが、作文などのフリースタイルで意見を述べる課題や、習い事（ピアノ）で自分で練習して自信がないところをする、などでは手が止まります。

【選んだ番号：意見や考えを言うことが恥ずかしいから、伝えたい意見や考えがないから】

・親には言えるけれど、他の人に意見を言うのが苦手で、頑張るまで伝えようと思わない様です。それなら自分が我慢していれば良いと思っていて、伝えてからの相手の態度などを心配して言えない事も多いようです。

4 市や施設への意見について

(5) こども・若者が自分の意見や考えを表明することやこども・若者の意見や考えを取り入れることについて、あなたが思っていることを自由に記載してください。

- 意見や考えを子どもなら無謀なことを言うかもしれませんが。それがどうして叶わないかも知らせてもらえる機会があることでより考えようとするのかなと思いました。
- 学校の先生から定期的に年に何回かアンケートをとるのが解答率が高いと思います。その為には川西市について興味を持ち、自分の意見を川西市に伝えることで、川西市をよくしていけるかも知れないという実感が重要です。地域や学校でこどもの意見が地域や学校に反映されているという経験を積んだこどもは川西市や社会に意見を言いやすいと思います。地域にこどもの意見が反映されることはほぼありません。こどもを持つと地域社会に迷惑をかけて申し訳ありませんと謝り続ける非常に肩身の狭い暮らしがはじまる日本はおかしいです。社会の仕組みを変えることももちろん大切ですが、それ利用する人間が変わらないとお金や時間だけ消費し何もかわりません。まずはこどもに関係している地域の大人が変わること、こどもを大切に扱う大人が増えること、人間が変わることの方がもっと大切です。
- 私の子供はまだ小さいですが、小学生くらいの年齢でも今ある環境に対する意見や考えは自発的にはなかなか出てきづらいと思うので、大人側が子供の意見を聞きたい時は積極的に話し合いの場などが必要かと思います。
- こども！若者！とあまり区切るのもどうかと思うが、良くしていきたいという働きは良いことでもあると思う。
- 人数比では子ども達よりも高齢者の意見ばかり優遇されてしまうため、「子ども達の意見を取り入れる」というのはとても良いと思います。欲を言えば、子ども達だけではなく、子育て世帯の意見も取り入れてほしいです。
- 今までになかった取り組みで良いと思う
- このアンケートが届いて、小3の子供に簡単に質問しながら入力しました。まず、アンケートの意味や誰に届いているか、というところに興味があったようです。また、こういうのがあればいいなという子供目線の希望もあるようで、まずは、そもそもの取り組み自体を学校などで、知る機会があればいいなと感じました。そこで意見も募れば子供ならではの面白い意見が出そうな気がします。若い方、子供達の意見が反映されて、成長過程を過ごす川西市が住み良い街になるなら、とても素晴らしいことだと思います。
- パブリックコメントのように計画策定前に意見や考えを表明させるのではなく、政策決定過程や計画素案の段階でこども・若者の意見を取り入れなければ、こども・若者が参画したとはいえないと考えます。また、政策決定に当たっては、大人が考えている『あるべき』政策ありきで、その方向にこども・若者の意見を誘導することがないよう、恣意性を排除する仕組みが必要がある。

- 意見^{いけん}を言う場がないアクセスしやすく、気軽^{いきがる}にいえる場がほしい。先生^{せんせい}の働き方改革^{はたらかたかいかく}ばかりで、子どもたちの教育面^{きょういくめん}はどうなっているのか、子どもは置いてけぼり^おになっていないのか、子どもの立場^{たちば}にたった、検証^{けんしょう}もしてほしい
- 意見^{いけん}や考^{かんが}えを言うことが得意^いではない子供^{こども}に、意見^{いけん}や考^{かんが}えを表明^{ひょうめい}させる事^{こと}は難^{むずか}しく、誰^{だれ}しもが出来る事^{できごと}ではないように思う。意見^{いけん}や考^{かんが}えを言^いいたい子供^{こども}達が、何者^{なにもの}にも邪魔^{じゃま}をされず、自由^{じゆう}に発言^{はつげん}できるように。また、出来^{でき}ない子供^{こども}達が無理^{むり}やり言^いわされる事^{こと}がないようになると思う。具体的^{おも}にどうすればいいのか、、、お手紙^{てがみ}を書^かく形式^{けいしき}で、とかでしょうか。聞^きく側^{がわ}として思^{おも}った事^{こと}は、つい、忙^{いそが}しく「後^{あと}にしてー」と、子^こども^の話^{はなし}を聞^きけないことがある。もつとゆとりを持^もって子育^{こそだ}てがしたいが、働^{はたら}いて、家^か事^じもして、、、となると、余^{よゆう}裕^もを持^もつことが難^{むずか}しい。ま^まず、子^こども^の話^{はなし}をゆ^ゆっくり聞^きく事^{こと}から気^きをつけようと、アンケートを通^{つう}じて思^{おも}った。
- こども^の意見^{いけん}に真^{しん}剣^{けん}に耳^{みみ}を傾^{かたむ}ける取^とり組^くみ^を本^{ほん}気^きでしてほしい。高^{こう}齢^{れい}者^{しゃ}の方^{かた}向^むけにも必要^{ひつよう}な事^{こと}は一定^{いってい}数^{すう}理^り解^{かい}するもの、横^{よこ}の市^しと比^{くら}べた際^{さい}に、本^{ほん}当^{とう}に魅^み力^{りき}的^{てき}になっ^なっているのか、本^{ほん}気^きでもう一^{いち}度^ど1^{から}考^{かんが}え直^{なお}してほしい。今^{いま}のもの^を変^かえるのではなく、0^{から}作^{つく}る気^きでしな^ないと何^{あた}も変^あわら^らない。新^{あたら}しい人^{ひと}た^ちが川^{かわ}西^{にし}市^しに來^きたくなるようにしな^しないとい^いけない。そのた^ためにはもつとこ^こども^のた^ちの意^い見^{けん}に真^{しん}剣^{けん}に取^とり組^くんでい^いた^たきたい。
- 共^{とも}働^{はたら}き家^か庭^{てい}など、子^こどもと接^{せつ}する時^じ間^{かん}を多^{おほ}くするた^ため^の働^{はたら}きや^{すい}社^{しゃ}会^{かい}の整^{せい}備^びを川^{かわ}西^{にし}市^しから行^{おこな}って^いた^たけ^{たら}、よ^より暮^くら^しや^{すい}ま^ちづ^くり^になるかと思^{おも}います。よろしくお願^{ねが}い^します。
- 子^こども^の親^{おや}の考^{かんが}えを^か変^{ひつよう}える必要^{おも}があると思^{いけん}います。意^い見^{けん}を言^いって^も変^かわ^らない、と親^{おや}が思^{おも}って^いれば、こ^こども^が何^{なに}か意^い見^{けん}を言^いって^きても、そ^そこ^で話^{はなし}が終^おわ^つて^しま^う。何^{なに}か行^{こう}動^{どう}を起^{おこ}して、市^しが動^{うご}いて^くれ^たとい^いう成^{せい}功^{こう}体^{たい}験^{けん}がな^いければ、わ^わざ^わざ言^いお^うと思^{おも}わ^ないし、市^しが子^こそ^だてを^しや^すい、住^すみ^やすい場^{ばしよ}所^{みりよくてき}、魅^み力^{りき}的^{てき}な場^{ばしよ}所^かに変^かえよう^{として}いる、と親^{おや}が思^{おも}え^ば、子^こども^の意^い見^{けん}を^き聞^{こう}いたり、行^{こう}動^{どう}を起^{おこ}し^{やす}くなると思^{おも}います。こ^この^よう^なアンケートも良^よいと思^{おも}います。
- こ^こども^や若^{わか}者^{ちの}の意^い見^{けん}や考^{かんが}えを^と取^いり入^{こと}れる事^{だいじ}はと^も大^ぜ事^ひで^ず是^じ非^ひ推^{すい}進^{しん}い^ただ^きたい^{です}。た^ただ、こ^こども^や若^{わか}者^{ちの}が自^{わか}分^{ちの}の意^い見^{けん}を^い言^いうこ^{こと}は、大^お人^と以^な上^{じょう}に勇^{ゆう}気^きが^い入^いり、難^{むずか}しい事^{こと}だと思^{おも}います。な^なので是^ぜ非^ひ子^こども^が言^いい^{やす}い^く組^{くみ}み^や仕^し組^{くみ}み^をつ^つく^つて^いた^たきたい^{です}。
- こ^こども^が大^お人^とに意^い見^{けん}を^のび^のびと^い言^いえる^よう^になる^ため^には、ま^まず信^{しん}頼^{らい}関^{かん}係^{けい}を築^{きず}くこ^{こと}が1^{ばん}番^{だい}大^{だい}切^{せつ}だと思^{おも}います。保^ほ育^{いく}施^し設^{せつ}では一^{ひとり}人^{ひとり}一^{ひとり}人^{ひとり}を大^{だい}切^{せつ}にそ^この^こ子^こに^あつ^たた^かつ^た関^{かん}わ^り方^{かた}を^しこ^うさ^くご^をほ^いく^{して}く^ださ^つて^いる^ため^に感^{かん}謝^{しゃ}して^いま^す。そ^その^よう^な土^ど台^{だい}があ^あつ^て初^{はじ}め^て、うれ^{うれ}しいこ^{こと}、悲^{かな}しか^かつ^たこ^{こと}、悔^{くや}しか^かつ^たこ^{こと}な^などが少^{すこ}し^ずつ^つ言^いえる^よう^にな^なつ^てい^いく^{と思}う^ため^に単^{たん}発^{はつ}的^{てき}な意^い見^{けん}を^き聞^きく場^ばでは^なく長^{ちやう}期^き的^{てき}に^しつ^つか^りと子^こども^のた^ちや若^{わか}い世^せ代^{だい}(子^こそ^だて世^せ代^{だい}も)と向^むき合^あつ^て欲^ほしいと思^{おも}つ^てい^ます。
- こ^こども^や若^{わか}者^{ちの}の意^い見^{けん}を^き聞^きき、取^いり入^とれ^いられるこ^{こと}は取^いり入^{ほう}れる^{ほう}方^{こう}で進^{すす}んで^いた^だける^ため^に非^ひ常^{じょう}に^あり^がた^いこ^{こと}だと思^{おも}います。た^ただ、伝^{つた}える^ば場^ばがな^なか^なか^なか^な少^{すく}ない^ため^に現^{げん}状^{じょう}で^す。今^{こん}回^{かい}の^よう^に簡^{かん}易^いなアンケート^だつ^たり、WEB^{じょう}上^いの意^い見^{けん}箱^{ばこ}を^もう^だれ^{でも}が^よう^いに^い見^{けん}

を市役所側に伝えられたらいいなと思います。そして、そのフィードバック的なことも広報誌やWEB等で、公表されればさらにありがたく思います。(ご担当の方の負荷がかかってしまいますが…)

- ・ 子供にとって住みやすい街にするためにも積極的に意見を吸い上げてほしいです。また子供だけでなく養育者の意見も聞いていただきたいです。小さい子供がいると市役所などへの訪問も難しく、情報を取りにくく感じています。
- ・ 親としては勿論子どもの意見を取り入れて欲しいし、子どもに意見の伝え方を学べるいい機会になるだろうと思います。ただその反面、たくさんの意見が市に届く事で当然選ばれる意見と選ばれない意見が当然出てくると思います。選ばれなかった際に「川西市は自分の意見を聞いてくれない」「どうせ言っても聞いてくれない」と感じたり、言った者が勝ちなクレーマー化したりする潜在的なリスクがあると思います。意見を言うにしても、(勿論年齢によってアプローチは違うと思いますが)どのように言えば意見が通りやすいかを指導することでプレゼン能力を培ってみたい、選ばれた理由を市からプレゼンしてもらおうと子ども達にも不公平感の解消や、逆に大人のプレゼンを見てプレゼン法を学ぶなど能力強化につながるのではないかと思います。勿論市や教育関係者のリソースの問題があると思うのですが、せっかく意見を集めるのなら、教育にも繋がるようになればいいなと個人的には思います。
- ・ 自分の意見や考えを身近な人に伝え伝える、という経験から社会に繋がるという事に広がっていかれたらと思います。その為には大人の私達がまず知る事も大切だなと感じています。社会に伝える際にはどうしても窓口がわかり辛く身近ではない為、もう少しわかり易くあって欲しいとも感じました。
- ・ 凝り固まった大人の考えばかりではなく、子どもや若者の意見や考えを取り入れることにより、考えの幅が広がって良いと思う
- ・ 育った環境によって価値観は違うと思いますので、たくさんの意見を聞くのはいいが決めるのはある程度年齢がたって少人数の方がいいと思います。
- ・ 今回このアンケートに答えていく中で自身が思った事は子ども自身が”こんなことが出来たらいいな” ”あんな事が出来たら嬉しいな”という小さな意見が伝えやすい環境、そしてその意見がどうなったのかという事がわかりやすい環境があれば色々な意見が飛び交うようになるのではないかなと思いました。
- ・ ニュースで、中学生の意見を取り入れて給食のふりかけをOKにしたと知りました。子どもたちとしては、意見を述べれば叶うこともあるとわかり、とても良かったと思います。今の市長さんになって、市民の意見を聞いて、みんなで考え、実行するという過程が目に見えて分かるようになりました。とても素晴らしいことだと思います。宝塚市に接しているところに住んでいるため、宝塚に住みたいと川西を出ていく方もいますが、川西市は進んでいる、子どもたちのことをとても考えてくれると私も感じますし、宝塚在住の方もそう言っている声も耳にします。これからも川西市がより良く、そしてたくさんの子どもの笑顔があるふれる市になるよう、たくさんの意見を取り入れていっ

- てほしいです。若者が選挙に行こう、みんなで考えようと思えるよう、これからも市長さんを筆頭に頑張っていたきたいです。よろしくお願いします。
- 公立小中学校の授業とかでアンケート実施してみたら、沢山の子どもたちの意見が聞けるのかな。
 - 固定概念を大人が排除すること。ただ、社会常識を教えないと大人になって困る。小学生のうちに、挨拶を始めとする礼儀、目上の人への言葉づかいを教えていきたい。
 - 少子高齢化の時代で未来ある子供にスポットをあてて行政が変わっていくことはとても大切だと思う！
 - 自分の意見や考えを表明するためには、まず実施しようとする内容を知り、知識や理解を深める必要がある。その内容を知る機会が少なく、より伝わりやすい情報発信方法を検討していただきたい。何をやろうとしているか知ることができれば、ある程度は自分で調べることが可能になるため。
 - 公共施設の目に付く色々な所にQRコードを掲示して、思った時にすぐ意見が言えるような環境を作る
 - 若者たちの意見もきちんと届く環境作りが成されるのは、とてもいいことだと思います。勇気を出して伝えた意見がどうなったのか。叶わない意見や考えだった場合は、どういう背景からだめなのか、というフィードバックがあることで、また新たに、じゃあどうしたらいいのかという考えを生むきっかけに繋がるのではと思います。
 - ニーズを把握のうえ施策を実行することは良いことだと思います。ただ、子ども本人に聞くべきか、その保護者に聞くべきかは目的に応じて使い分けていく必要があると思いました。
 - それぞれの子どもが自分の意見や考えを持っているけれど、それを市といった子どもにとって理解できない大きな組織が取り入れてくれてくれるかもしれないということに考えが及ばないと思う。
 - 子どもが未就園児のため自分の意見を伝えることは難しいです。3人の子を育てていて川西市は子育てしやすい環境と感ずることが出来ていません。その思いを伝える場がないので作って欲しい。またそれをいかして政策に繋げて欲しいと思います。
 - 子ども・若者に意見を聞くことは市政への関心に繋がると思うので良い取り組みだと思います。ただし、実際に意見を聞き、形になるのはごく一部の意見だと思いますので選択肢に記載いただいたようにどうゆう経緯、考え方で最終的に一部の意見が採用されたかを伝えることで、「意見を言っても無駄」とゆう無関心にならないようになるのではないかと思います。
 - 住む地域や家庭の形によって同じ市内の子育て世帯でも意見が異なってくると思うので、その点を考慮・区別した上で意見を吸い上げるとより精度が上がると思うし具体的な行動に移しやすいと思う。
 - 子ども・若者が施設や公園等を利用する際にトイレ等が綺麗かつ安全で体型にあった利用しやすい仕様にする、また今後の社会の中心となる世代の意見を取り入れる機会を

- 増やすことは重要だと思ふ。
- 親の都合ばかりの意見や表明ばかりが前に出ているような気がします。何でも子供のいうことすべてきけばわがママが通るだけになります。自分の生きてきた時代ともかなり違うので、何度もメールやラインで意見をきけるようにするのが良いかと思ひます。
- 柔軟に聞き入れるがモラルに反するような事があれば、反対意見を伝えて判断を促す
- 家庭や学校、地域が安全で信頼できると子供が思える事はとても大切。疑問や不安あつても何から始めてよいか分からないのがこどもなので、解決策を大人や市が選択肢をたくさん提示してあげたら、子供は不安や疑問を相談しやすくなると思ひます
- とてもいいことだと思ひます。若者が考えや意見を言つて尊重してもらえらる機会があれば、もっと責任感のある若者も増えていくと思ひます。
- 表明する以前に、まず自分の意見や考えがどういふものなのか、どう伝えていいのかを分かつていないと思ふ。例えば、勉強が難しいとつまずいている子にどこが分からないのかを聞いても、何が分かつてないのかを分かつてないのでもっと根本的なところから教えてあげるのと同じ。私自身の反省なのですが、子供に色々を与えすぎたり時間がかかるからと何でも先回りしてしてしまう事が多々あり、子供自身が考えたりやりたいと思ふ気持ちを奪つていたところがある。まずは、自分の意見や考えを人に伝えられるような行動・思考力を小さい時から付ける必要があると思ふ。保育園や幼稚園、小学校でも与えられる教育だけではなく、グループで好きな遊びは何？好きな食べ物は何？など、そういう些細な会話を数人のグループで話し合える場を沢山経験する必要があると思ふ。
- 電子機器の発達や、コロナなどで他人とのコミュニケーションが減り、対人関係が希薄になつた今、誰もが通う他人との関わりでの言葉の大切さを改めて感じます。
- こどもや若者の意見や考えを聞いて取り入れる参加条例の策定目的は何ですか？笑顔つづくミライに向けて、こどもが笑顔になり、こどもが幸せになるための施策。こちらの表現が、あまりにも抽象的なので、もっと具体的なKPIや設問を設定しない限り、関係した方々の自己満足にしかならないと思ふ。みなさん自らが子供時代を過ごし、親を経験されたと思ふので、何をしたら良いか、何が足りないか、費用対効果、課題、親世代への補助など、すでに選択肢は出尽くしていると思ふ。その中で、限られた予算の中で、どれを選び、どれを捨てるのか。選択は難しいと思ふので、その選択をこどもにさせれば良いと思ふ。現役のこどもの意見を集めて、「こども若者が、こども若者も、こう言つています！」的なアプローチより、大人が予算を考慮した選択肢(規模によるレイヤーを分けて)、幼稚園や小学校、中学校などで、子供達に討論させたら良いのではないか。別途、市役所や、公民館などの、川西市が管理できる施設で、AdobeやEpicやTikTokやYouTubeなどの撮影編集を、若者世代専用で用意してあげると、最先端の市区町村になれる気はする。
- 子供によって、たくさんの人の前で堂々と自分の意見を言える子、一対一なら伝える事ができる子、親でないと難しい子、個性があると思ふ。家の子は堂々と伝えるタイプではないように思ふので、そういった子の意見もきちんと取り上げてもらえるような仕組み

にしてほしい。

- これからの時代を担うことも、若者が意見を表明し、市政に参加することは大切だと思うが、若いほど偏った思想に陥り、それこそが正義だと思い込んでしまうことも多いため、意見は受け止めつつも取り入れすぎないように注意しなければいけないと思う。
- 普段から子どもに関わっている保護者や先生を通して意見を聞くほうが伝えやすいと思う。
- 取り入れることは良いと思うが、まず伝えようとしてくれていることに最後まで耳をかたむけてあげることが必要だと思う。
- 川西市だけではないですが、高齢化社会の中で存続していくためには若い世代の意見をとり入れていく必要があると思います。就学前の子どもに関しては、子ども自身に意見を求めることは難しいと思うのでその親に意見を求める機会等設けていただけるとありがたいです。
- 実際子どもが具体的に提案する事は難しいと思う。ただ、こうだったら良いなーと感じている事を聞く事は可能だと思う。感じている事を共感して形にしていく事が必要と考えます。
- 可能な範囲で、子どもや若者の意見を取り入れ、少しでも実現できれば素晴らしいと思う
- 子どもの意見を取り言えることはいいことだと思う一方、回答内容によっては全回答するのが良いかは考えた方がよい。例えば個人的な内容か？未来を考えず今だけのニーズなのか？など、子供は大人と違って人生経験が足らず考えが未熟(完全に個人的な意見など)のケースがあると思われるため、しっかりと内容を精査したうえで取り入れるべきと考えます。
- 大人の意見を押し付ける。私達の年代は、それが、身につけている人が、いっぱいまだいる。40代前半で、それ。古き良きは、確かにある。年寄りを敬う。いい言葉だ。だが、年寄りが、我が物顔で歩くは似てひなり。若くありたいと言う人が多い一方で、近頃の若者は。と嘆く。ではなく、経験上、こうではないか？と教えてあげて、それでも、頭打たないと気づかないなら見守る事のできる環境を作るべき。鼻から、アカンと否定したのでは、反抗したくなるのは、当たり前。言う側が聴く側を聴く側が言う側を思いやれば、全てがかわりいい様に動き出すと思う
- 子どもが主体的に市政に関わることで、市政をより良くするだけでなく、将来の主体的な有権者を育てるにも繋がるものと期待しています。
- もっと子どもが興味を持てる街づくり(遊べる施設だったり、勉強できる施設)、行事を増やす！
- 市に対する発言の場がどこにあるかわからないので、遠い存在に感じます。市に頼ることを考えた事はありませんでした。今後頼れば解決する事も、どこまで頼りにして良いのかわからない。質問に関係ないかもしれませんが、特に子供に関しては、高齢者や介護や支援が必要な人は市が助けてくれる情報を知らないという事を目の当たりにしています。その辺りも存在がまだ遠く感じます。

- ・市の考えを一方向的に押し付けるのではなく、市民の意見を尊重して柔軟にかんがえてほしい。市でどのような話し合いがされているのか市民にもわかる形で公開してほしい。議事録、YouTubeなどで。
- ・意見を述べる機会をイベントなどで楽しめるよう設ける。反対や違う意見があったとしても否定せずまずは仲良く意見交換、発言してみる場を設け、グループディスカッションしてみるなど自分の意見を周りの人に伝える機会を設けるといいかなと思います
- ・コロナ禍で生まれ育った子どもたちなので、今まで以上にいろいろな経験をさせてやりたいとおもいます。また、いろいろな年代の意見を取り入れることで柔軟な発想がこれからの川西市をより生活しやすい街にしてくれるのかな?とも思います。
- ・前項目に記載した通りです。こどもを育てるのは保護者です。保護者の意見を大事にして下さい。よろしく願います。
- ・今の日本は子どもたちにとって生きにくいと思う。それぞれを活かす教育体制を整えていけるようにしていきたいと考えている。
- ・我々が子供の頃はこのような取り組みはなく全て大人たちが決めていたので良いことだと思います。小さい頃からそのような場が当たり前になれば子供たちも若者たちも自分の意見を言うことに積極的になると思います。
- ・大人だけがいくら子どものこと考えて政策を掲げたとしても、本当に子どもたちが必要としていることを十分には理解できていないと思うので、直接子どもたちの意見を聞いて取り入れることは大事だと思う
- ・こども・若者の素直な意見を受け入れていくことも大切だと思う。親の目線から見ると、どうしても子どもの意見とはずれが生じると思う。子どもの人権を大切にしていけるために必要なことだと思う。
- ・以前より市は、まちづくりを住民と協働してやってくれていると思いますが、参加している人が、リタイアした高齢者が中心で、こどもを持つ親の意見を反映されているとは言い難いと思います。実際、共働きで子育てをしていて、時間がなく、そういった会議に参加することは不可能に近いです。意見を取り入れてくれようとしているならば、忙しい人でも意見を出せるような方法をしてもらわなければ難しいと思います。
- ・小さい時からしっかり自分の意見を持つということは難しいけれど持って欲しいなと考えています。そのために、自分の意見を取り入れてくれた、聞いてくれたという経験はきっと将来いきると思います。家でももちろん子どもの意見を大切に、たくさんそういう経験をして欲しいと思っていますが、市でもそのような取り組みをしようとしてくださっているのはとてもいいことだと思います。ぜひこども、若者の意見を取り入れもつといい川西市にしていってください。
- ・「こどもが自分の意見を表明する」という場として、いわゆる「こども議会」とか「〇〇の主張」といったイベントを行う、というのは、何かをやっている感を出しているだけでズレているように思う。家庭や、学校・こども園などの日常からこども達の思いを

- 汲み取っていく仕組みを考^くえ^とるべきではないか。そうなると、保護者^{ほごしや}や教員^{きょういん}などを通じて、
 という形^{かたち}が必要^{ひつよう}になる気がします。
- 新^{あたら}しい発想^{はっそう}が出てきそう^でで良い^よ取り組み^{とく}みだ^くと思^{おも}う。
 - 子供^{こども}や若者^{わかもの}の意見^{いけん}を直接^{ちよくせつき}聞くこと^にに加え^{くわ}、保育士^{ほいくし}や教師^{きょうし}など現場^{げんば}の人^{ひと}へも意見^{いけん}を聞いて^き欲しい^ほ。
 - 小学校^{しょうがっこう}の教師^{きょうし}の数の充^{かず}実^{じゅうじつ}と、1クラス^{にんずう}の人数^{にん}を30人^{さんじゅう}までにして、先生^{せんせい}の目^めが一人^{ひとり}一人^{ひとり}に行^いき届^{とど}きやすい環^{かんきょう}境^{きょう}が必要^{ひつよう}だと思^{おも}う
 - 公園^{こうえん}の使^{つか}い方^{かた}などわかりやすく書^かいて欲しい^ほ。ボール遊^{あそ}びが禁^{きん}止^しでも使^{つか}っている人^{ひと}がいれば^いなん^てで？となる。ル^るール^るを徹^{てつてい}底^{てい}してほ^ほしい。
 - 言^いったこと^{こと}に対して^{たい}、ネッ^ねト^とや広^{こう}報^{ほう}に回^{かい}答^{とう}してくれ^くたら意^い見^{けん}質^{しつ}問^{もん}を聞^きいてくれ^くれたん^んだ^だなと思^{おも}う。
 - 何^{なに}かお題^{だい}を出^だして、子^こ供^{ども}達^{たち}が言^いった意^い見^{けん}や考^{かんが}え^えに對^{たい}して否^{ひてい}定^{てい}せず、ま^まず^ずは自^じ由^{ゆう}にデ^でィ^ィス^スカッ^かシヨ^{しよ}ン^んで^でき^きる場^ばを設^もう^うて^てみ^みる。そ^ごの^の後^ご、出^いた^で意^い見^{けん}やアイ^{たい}デア^だに對^{たい}して、そ^じれ^れが^が実^{じつ}現^{げん}した^たら^らど^どう^うなる^るの^のか？ま^{また}た、実^{じつ}現^{げん}さ^させる^るた^ため^めに^には^は何^{なに}を^をす^すれば^ばよ^よい^いの^のか？を^{かんが}え^えて^てま^まら^らう。
 - 小^{ちい}さい^{さい}頃^{ころ}から自^じ分^{ぶん}の意^い見^{けん}が言^いえる、自^じ分^{ぶん}の考^{かんが}え^えを^をも^もつ^つこ^こと^とが^がで^でき^きる^るとい^いう^うこ^こと^とは^は今^{こん}後^ごす^すご^く役^{やく}に立^たつ^つと思^{おも}うし、そ^それ^れが^が反^{はん}映^{えい}され^れたり取^とり^あげ^げられ^れたら^らよ^より^り皆^{みな}にと^とつ^つて^てプ^ぷラ^らス^すに^にな^なる^ると思^{おも}います。そ^そして^{して}私^{わたし}たち^ちでは^は見^みえ^えない^い視^{してん}点^{てん}から^らの^の意^い見^{けん}は^は私^{わたし}たち^ちにと^とつ^つても^もす^すご^く貴^き重^{じゆう}な^なもの^もだ^だと思^{おも}うし^しい^いろ^ろんな^な意^い見^{けん}を^を聞^きいて^てみ^みたい^いな^なと思^{おも}います。
 - こ^こども^{ども}や若^{わか}者^{もの}の考^{かんが}え^えを^を取^とり^いれ^れる^るこ^こと^とは^は必^{かな}ず^ず必^{ひつ}要^{よう}にな^なって^てく^くる^ると思^{おも}う。SNS^{かつよう}など活^{かつ}用^{よう}し^して、こ^こども^{ども}や若^{わか}者^{もの}から^ら市^し政^{せい}が^が付^つか^かず^ず離^りれ^れず^ずして^{して}い^いく^くこ^こと^とが^が求^{もと}め^めら^られる^るか^かな、^{おも}と思^{おも}います。
 - 子^こども^{ども}のニ^{ねん}ーズ^だは^は年^{ねん}代^{だい}によ^よつ^つて^て変^かわ^わつ^つて^てい^いく^くた^ため^め、実^{じつ}現^{げん}ま^までの^のペ^ぱース^すを^を早^{はや}め^めない^いと^と自^じ分^{ぶん}の^の意^い見^{けん}や^や考^{かんが}え^えが^が反^{はん}映^{えい}され^れても^も数^{すう}年^{ねん}後^ごだ^だと^と実^{じつ}感^{かん}し^しにく^くい^いと思^{おも}う。
 - 近^{きん}所^{じよ}は^は高^{こう}齡^{れい}化^かが^が進^{すす}んで^でお^おり^り、子^こ供^{ども}が^が少^{すく}ない^い。子^こ供^{ども}が^が少^{すく}ない^いと^と少^{しょう}数^{すう}派^ぱにな^なつ^つたり^り、難^{むずか}しい^いと思^{おも}う。
 - アン^{たい}ケ^{しょう}ートの^の対^{たい}象^{しょう}年^{ねん}齡^{れい}では^はあ^あり^りま^ませ^せん^んが^が、中^{ちゅう}学^{がく}校^{こう}の^のふ^ふり^りか^かけ^けの^の件^{けん}は^は、こ^こども^{ども}も^も意^い見^{けん}を^を聞^きいて^てま^まら^らえた^たと^と実^{じつ}感^{かん}で^でき^きる^るよ^よい^い機^き会^{かい}だ^だつ^つた^たと思^{おも}います。
 - 子^こ供^{ども}達^{たち}が^が自^じ分^{ぶん}の^の考^{かんが}え^えを^を表^{ひょう}明^{めい}して^{して}く^くれ^れる^るの^のは^は素^す晴^ぱら^らしい^いと思^{おも}う。単^{たん}純^{じゆん}に^に自^じ分^{ぶん}の^の意^い見^{けん}を^を言^いえる^るの^のが^がす^すご^くい^いし^し、子^こ供^{ども}目^め線^{せん}から^らし^しか^か解^{わか}ら^らな^なか^かつ^つた^た発^{はっ}想^{そう}が^が出^でて^てく^くる^るか^かも^もし^しれ^れない^いので^で。し^しか^かし^し、折^{せつ}角^{かく}の^の意^い見^{けん}だ^だか^から^らと^と大^お人^{んな}が^が妥^た協^{ぎょう}して^{して}ま^まで^では^は何^{なん}でも^も聞^きく^く必^{ひつ}要^{よう}は^はない^いと思^{おも}う。社^{しゃ}会^{かい}を^を学^{まな}ば^ばさ^さない^いと^とダ^だメ^めな^なので^で良^よい^い所^{ところ}と^と駄^だ目^めだ^だつ^つた^た所^{ところ}を^をし^しっ^{せつ}か^{めい}り^い説^{せつ}明^{めい}して^{して}あ^あげ^げたい^い。
 - 子^こども^{ども}や若^{わか}者^{もの}の^の意^い見^{けん}ば^ばか^かり^りを^を取^とり^いれ^れる^るの^ので^でな^なく^く、子^こども^{ども}の^の環^{かん}境^{きょう}を^をよ^よく^くす^する^るの^のは^は、子^こ育^こて^こして^{して}い^いる^る両^{りょう}親^{しん}だ^だと思^{おも}いますし^し、高^{こう}齡^{れい}者^{しゃ}が^が多^{おお}い^いので^であ^あれば^ば、高^{こう}齡^{れい}者^{しゃ}にと^とつ^つても^も優^{やさ}しい^い街^{まち}作^{つく}り^りを^をし^して^てほ^ほしい^いと思^{おも}いますし^し、み^みん^んな^なが^が過^すご^ごし^しや^やす^すい^いよう^うに^に、あ^あら^らゆ^ゆる^る世^せ代^{だい}から^らの^の声^{こゑ}を^を少^{すこ}し^しづ^づつ^つでも^も反^{はん}映^{えい}でき^きたら^ら、素^{すて}敵^{てき}な^な街^{まち}に^にな^なる^るの^ので^でな^ない^いか^かと思^{おも}います。今^{いま}の子^こども^{ども}は^は、タ^たブ^ぶレ^れッ^つト^とが^が使^{つか}える^るので^で、タ^たブ^ぶレ^れッ^つト^とを^を有^{ゆう}効^{こう}に^に使^{つか}え^える^ると^と良^よい^いと思^{おも}い^いました^た。自^じ分^{ぶん}の^の意^い見^{けん}が^が反^{はん}映^{えい}され^れる^る事^{こと}で^で、ま^{また}意^い見^{けん}を^を伝^{つた}え^えたい^いと思^{おも}え^える^ると思^{おも}います。

- これからの川西市を担っていく大切な若者の意見をしっかりと丁寧に聞く事はとても大切な事案だと考えています。
- 若者や子どもの意見を聞く機会を設ける。よく関わるのは公園ですが、ルールをほとんどが守って使用していると感じる。
- 子供の年齢にもよりますが、出された意見が本当に必要な物が大人が考え直すことが必須だと思います。ただ、どの様な考えや意見も自由に表明でき、出された意見についていろいろな年齢の子供達が自分はどう思うか考え、意見表明できればいいなと思います。
- 意見を伝えることは大切なことなので、しっかりと聞いてもらえる環境を作ることが大切だと思います。子どもや若者の意見や考えを積極的に取り入れて欲しい。
- 子どもたちが行きやすい図書館などで意見や考えを言いやすくできる場があればと思います。いろんなイベントがあればいいなと思います。
- まだ子どもが一歳と小さいので、自分の伝えたいことを言えないのでなんともいえませんが、学校を媒介にしてアンケートを実施したり、社会科や生活科の校区探検などの授業を利用して、実際に市役所などに足を運んで子どもと市職員との意見交流ができる機会を設けると良いのではないかと感じる。
- 新しい感覚を取り入れることで、市の発展に繋がると思います。
- 子供の意見や考えは大人と違って柔軟な面白い部分が現れてくると思います。尊重してきてあげてほしいです。
- 子ども達が思っていることは沢山あると思います。それを取り入れることはとても良い事だと思っています。それを学校へ出向いて聞くのもいいですが、全員が全員、出向いた方に意見、思いを言えるとは思えません。人に自分の意見を言うことが苦手なことのため、やはりアンケートをそれぞれに書いてもらう、それも匿名で。がいいのではないのでしょうか？年齢が高くなるにつれ、LINEなどでアンケートを求めるのもいいですが、認知される重要性も必要です。また、子ども達は自分たちが意見した方がどうなっているか、ちゃんと伝わったと言ったことがわからないと言っても意味がないなと思うので、取り上げて、今こうなっているとわかることが子どもが意見したら拾ってもらえる、じゃあ、また思った事を言ってみようと思うと思います。それは大人に対しても同じだと思います。大人がこう思っていると思っても検討されてないと思っているから、その大人が子ども達にも行政に言っても反映されない、仕方ないと思っているので、両方大切にしたいと思っています。より良い市政を楽しみにしています。
- 市内に子ども・若者が増えることは市の発展に大きなプラスをもたらしてくれることだと考えております。子どもや若者が生活しやすい街になれば子育て世代の転入から街の発展につながるかと思っておりますので、ぜひこちらに力を入れていただきたく思います。
- 若者や子供たちの声が届いて過ごしやすい環境がないと、その地域は廃れてしまうと思います。
- 気になっていることについて、子どもやその保護者が気になっているタイミングで意見

を伝えることができれば、より生の意見を伝えられて良いと思う。(現在1年生で学童や登校の仕方について思うこともあるため)

- ・ こどもの内から意見を出して、それがどのように検討されて採用、不採用になるのかなど体験していくことは大切だと考えます。また、子どもや若者がこれから長く過ごしていく社会、地域作りなので、子どもや若者の意見に耳を傾けるべきだと思います。(住みよい地域でないと若者は流れてしまうとも思います)
- ・ 川西市の子どもたちに対する姿勢はとても良いと感じる。まだ子供が未就学児で幼いながらも、広報誌などでの活動は常に拝見し、自分の子供達が小学生や中学生になった頃には、より子育てがしやすくなる環境だろうと想像し得る。子供達と交流する場、意見交換をする場を市が積極的に設けていることは若い世代を街に呼び込むための大きなセールスポイントにもなり得る。今後の活動等も積極的に応援したいと思う。
- ・ まずはおとなが、子ども・若者を大切にしているか、意見や考えを取り入れようとしているかなどの誠意を見せるべきではないかと思います。
- ・ 子どもや若者の意見を取り入れるのは良いことだと思います。若者の柔軟な考え方を活かして欲しいと思います。
- ・ 子ども・若者の意見はとても貴重で大切に扱わなければならないと常に思っています。わが子はまだ4才なので、自分のことや身の回りのことに関する意見・考えがほとんどです。この意見・考えを、先生や他の人に説明しよう!と思ってもなかなかできないのが4才です。でも説明する場をたくさん設けること、どんな意見を言っても恥ずかしくないとおぼせること、で数年後は絶対言えるようになる!と思っています。川西市街づくりにおいて、子どもたちの意見・考えを出せる環境づくりを幼少期から作り、自分たちが住む街のことを自分たち自身で作りあげていくという意識を持てることが未来に繋がるのではないかなと思います。
- ・ 大人目線では気づかないような点に子供目線だと気づくこともあると思う。皆でより良い街にして行くことの大切さを小学校で教える。また、街のことについて考える授業を行い。出た意見を市にあげ、それがどう反映されたか。など、自分たちの考えた事がきちんと実現したということをお子に伝える。
- ・ 普段からなじみ、交流がない相手とは、なかなか意見交換や意思表示はし辛いと思うため、馴染のある学校や習い事などを通じる等して、適宜コミュニケーションをとっていく事が大切ではないかと思う。
- ・ 中学生を集めた中学生協議会(スポーツ・学問・地域社会の3委員会)を作り、中学校単位で代表者数名を選出して定期的な協議会を開催し、意見を教育長、市長自らが受け止めることでより子供達に寄り添った市政が行えると思います。中学生は時勢に敏感で向上心もあり、一定の社会的な知識や思考は既に持ち始めていると思います。市長や議員を選出する権利を持つのは投票権を得てからですが、自らの育つ地域をより良くするために意見する場所と時間を与えてあげても良いと思います。
- ・ 自分の意見を言える場所や機会があるのは、ありがたいことだと思います。意見に対して

はんのう
反応があれば、また次の意見や考えがでると思います。

- こ
子どもの頃から、市政などに対して意見を言っていていいこと、反映されることを体感できる
たいせつ
ことが大切だと思います。
- ぎょうせい
もっと行政の存在が子どもたちの身近になることが大切だと思います。
- いけん
意見や考えを聞いた後、どういう話し合いがされて、どういう結果が出たか、知れば良い。
- わかもの
子ども・若者の意見、子育て世代の意見にもっと耳を傾けて大切にしてほしいです。少
すこ
しずつ改善しているものの、まだまだ近隣の市と比べると川西市は子育てしにくいと感じ
か
みます。
- がっこう
学校や保育園、幼稚園で考える時間を設ける。市がきちんと話を聞く機会を作り、1
つでも意見を採用すること。また、それであがった意見と回答をweb等で公開する。ま
ずは今回のアンケートをしている事を公開してくれば、子ども、若者の意見を取り入
れようとしていると感じられると思います。

2 こども・^{わかもの}若者（9～^{さい}29歳）

2 ^{いけん ひょうめい}意見を表明することについて

(4) (3) で^{えら}選んだ^{ばんごう りゆう}番号の理由、またはその^{せんたくし えら}選択肢を選ぶことになった^{けいけん}経験について可能であれば、^{かのう おし}教えてください。^{ふくすうきさい}（複数記載いただいてもかまいません。）

※ (3) で^{えら}選んだ^{せんたくし}選択肢ごとに^{きさい}記載

【^{えら}選んだ^{せんたくし}選択肢：^{いけん}意見や^{かんが}考えを^い言っても^き聞いてくれないから】

- ・ ^{じぶん いけん い}自分の意見を言ったら^{はんろん}反論されたことがある^{ため}為
- ・ ^{あいて まちが}相手が間違っていると思って^{おも}発言した事に対して、^{はつげん}言いくるめられる^{こと}事がほとんどで、^{いけん い}意見を言う事を^{こと}諦めた

【^{えら}選んだ^{せんたくし}選択肢：^{いけん}意見や^{かんが}考えに^{じしん}自信がないから】

- ・ ^{ほんとう きも}本当の気持ちを言おうとすると^{なみだ}涙が出てきてしまうから
- ・ ^{じぶん いけん}自分の意見があつて^いわからない
- ・ ^{ほか}他の^{かんが}考えの人と^{ひと}話した際に、^{はつげん}自分の意見よりも^よ良いと^{かん}感じる^{こと}ことが多いから
- ・ ^{ただ}ただ^{じぶん}自分の^{かんが}考えを^い言いにくいから
- ・ ^{きも}気持ちをどう^{ことば}言葉にして^{つた}伝えれば^いいいかわからないから

【^{えら}選んだ^{せんたくし}選択肢：^{いけん}意見や^{かんが}考えを^い言うことが^は恥ずかしいから】

- ・ ^{なんとなく}なんとなく、^{にがて}苦手だから
- ・ ^い言うのが^は恥ずかしい

【^{えら}選んだ^{せんたくし}選択肢：^{いけん}意見や^{かんが}考えを^い言う相手が^{あいて}忙しい^{いそが}そうだから】

- ・ ^{たにん}他人に^{めいわく}迷惑をかけた^いくないから。

【^{えら}選んだ^{せんたくし}選択肢：^{いけん}意見や^{かんが}考えを^い言うことが^{めんどう}面倒だから】

- ・ ^{ちゅうがくせいじだい}中学生時代に^{せいろん}正論を^い言ったことで^{けいけん}いじめられた^{ため}経験がある為

【^{えら}選んだ^{せんたくし}選択肢：^{いけん}意見や^{かんが}考えを^い言える^{ふんいき}雰囲気ではないから】

- ・ ^{おこ}怒られている時に^{とき}自分の^{かんが}考えを^{つた}伝えると^{よけい}余計に^{おこ}怒られそうだから

【^{えら}選んだ^{せんたくし}選択肢：^{つた}伝えたい^{いけん}意見や^{かんが}考えがないから】

- ・ ^{つた}伝えたい^いことがないから。

【選んだ選択肢：わからない】

- ・ 頑固且つ慎重な性格から、熟考して自分にとって適切と思った意見を否定されるような機会を避けたいため
- ・ 自分の中で自分の気持ちをまとめたり、それを言葉にして端的に言語化する事が得意でない為(時間をかけないと気持ちと言葉がまとまらない)

【選んだ選択肢：意見や考えに自信がないから、意見や考えを言うことが恥ずかしいから】

- ・ 自己主張な苦手であるため

【選んだ選択肢：意見や考えを言っても聞いてくれないから、意見や考えに自信がないから、意見や考えを言うことが恥ずかしいから】

- ・ 自分の意思を相手に伝えることが苦手だから。親の頭がおかしくて話を聞いてくれないから。どうせ協力してくれないから。人間不信だから

【選んだ選択肢：意見や考えを言っても聞いてくれないから、意見や考えに自信がないから、意見や考えを言うことが面倒だから】

- ・ 話が苦手。あまり関心もない。

【選んだ選択肢：意見や考えを言っても聞いてくれないから、意見や考えを言う相手が忙しそうだから、意見や考えが大切に扱われなかったから】

- ・ 何度か伝えたが何も変わらなかったため

【選んだ選択肢：意見や考えを言っても聞いてくれないから、意見や考えが大切に扱われなかったから、意見や考えを言える雰囲気ではないから】

- ・ 同居の義母は自分の意見が正しく、他の意見は取り入れようとしなないから

4 市や施設への意見について

(5) こども・若者が自分の意見や考えを表明することやこども・若者の意見や考えを取り入れることについて、あなたが思っていることを自由に記載してください。

- ・ 年長者のかたは長年生きてきて私の考え方は正しいと思い込んでいる人が多いように感じる。若者の意見は聞かない聞いていないふりで上の空だったりすることが多い。なので年長者の凝り固まった価値観を見直していく必要があると思う。
- ・ 今の子ども達が大人になって社会を支えて行くと思うので、今の子どもや若者の意見を真剣にきいて、それをできる範囲で実行することはとても大事だと思うし、おとなが子どもや若者たちの意見を取り入れることはとてもいいことだと思うので、子どもや若者の意見をもっと大切にしたい。
- ・ 子供だから違うとかじゃなくしっかり受け止め考えて取り入れて欲しい。
- ・ 市のホームページ等、わかりにくいところもある。そのため、制度をもう少し見やすくわかりやすくしたらいいと思う。加えてそこに随時意見表明できるページを設けたらいいと思う
- ・ こどもに関する事は、一度だけでもこどもにアンケートを取ってもいいのでは、思います。
- ・ 年長者の利権などもあるかと思いますが、若者の意見を取り入れてそこに合わせる事が、より良いまちづくりにつながると思います。
- ・ 基本的に若者は自分の考えが市政に反映されると思っていない人がほとんどだと思うので、わざわざ手間をかけて意見を言おうと思えない。自発的な発信はハードルが高いため、アンケートなどスマホで簡単にできる方法で意見を聞くようにしてもらえると少しは身近に考えられるようになると思う。
- ・ 私は川西市に特別不満がある訳では無いので、強いて言うなら映画館などのアミューズメント施設が少ないなどのないものねだりしか思い浮かびませんが、こうして意見を聞く場を設けるだけではなく、聞きに来て下さるのは市民としてありがたいなど考えております。ですが、正直に申し上げると、川西市の活動や条例についてほとんど知らない、興味のない若者がほとんどであると考えております。なので、その層に詳細な意見を聞いても情報の非対称性があるので、有益な情報となりうるのか疑問を持ちますが、意見を取り入れようとしてくださるその姿勢には好印象を持っております。しかし、先程申し上げたとおり、私たちは川西市が何をしているのか知らないのだから、このままでは離れていく一方であると考えます。以上の理由から、川西市は関心を集めるような広報に力を注ぐべきだと考えております。
- ・ 私自身、中学生の頃に不登校・引きこもりになり、それにより希望の学校へ進学できなかったり辛い経験をした中で、意見が言えるような場所がなかったのだから、これからの子ども達には意見を話す場を作ってあげて欲しいです。

- わたしの考える子ども・若者からの意見や考えをすべて形にして欲しいとは思って
ないです。ただ、私たちの声も聞いてもらえる機会が少しでもあれば嬉しいなと思いま
す。
- 直接は言いにくいので、スマートフォンや匿名で軽く回答できるようにしたら、意見や
考えが多くなると思いました。
- この時代、未来を担っていくのは現在20~10代の若者であることから、古い価値観を否定
するべきではないが、若い人たちの意見・価値観を取り入れていくことは大変大切だと
考えていて、子ども・若者の意見が取り入れられるのには賛成なのですが、若者、特に
中高生までの子供が意見を表明できる場があまりにも少ないのが現状だと思っていま
す。ですから、子どもや若者が意見表明できる場を作ってほしいと思っています。
- 前述したように、役職や立場を死守する風潮から、全体的に意見や考えを出せずに
心の中に留めてしまうことが世の常になっていると感じています。年長者が経験して
きた時間に対して、若者は否定する事はできませんし追いつく事はできません。同時に
長年の習慣に対して変化を嫌う(リスク回避的な)ことも人間として良く分かります。し
かし誰も予想ができない未来に対して、希望や不安を持つ若者、一部の意見や考えを述
べれない若者などにとって少しでも風通しの良い環境があるだけでも、永続する社会に
良き連鎖を与えられるはずです。年長者が築いてきた今と、若者が描く未来お互いの意見
や考えが一方的にならずに、うまくミックスして、効率良く道徳的にサイクルできれば、
必ず起こるであろう様々な問題に難なく対処でき、その労力をまた新たな世代の意見
や考えによって進化し続けられるであろうと考えます。実際の社会はかなり複雑に機能
しており、その歯車が噛み合わなければならない事は十分に理解しておりますが、円滑油
を変えるだけでも回転効率は上がると思っています。まずは意見や考えの反映よりも、より
多くの意見や考えを集め、より平均にものごとを近づけることが重要と考えます。
- 意見を聞くだけでなく、選択肢を与えて欲しい。
- 意見を表明しても、その意見を全て実行することは難しいと考えるが、大人はその意見
に対して聞く姿勢をもって欲しい。また自分の意見を発言しにくい子どもに対しての配慮
をすることが必要だと考える。
- 若者と年長者では当然考えや価値観がそれぞれ異なっている為、どちらが正と決める
事をせずとも、1つの意見として受け入れる姿勢をもつことをはじめ、LINE や SNS等を
活用した若者の意見を取り入れる機会の創出があると良いと思います。また、若者の市
や街の取り組みについての関心は比較的高くはないと思われる為、若者の生活の中で街
の取り組みが見える工夫があると関心も高まるかと思えます。(現在掲示されている川西
70周年の駅のホームのポスターのような形)
- 子ども・若者が意見や考えを表明することで、より新しいものや考えをおとなや年
長者が知ることができる。子ども・若者と年長者ではニーズやものの感じ方、捉え方が
異なるため双方の意見を聞くことができる場があればいいと思う。また、次世代を担うの
は子ども・若者であるため、子ども・若者の意見や考えを取り入れることは必要である

おも
と思う。

- こどもたちがもっと川西を知って、好きになるには自分が川西市に携わることが大事だ
とおもいます。そのために、こういった企画を沢山設けて自らが選択して参加出来るよう
にすれば自分の考えも深まって行くとおもいます
- 選挙は、あれば絶対に行きますが、自分の投票した政党・候補者が当選することはほと
んどありません。それは仕方ないことですが、直接政治に関われる機会が選挙くらいし
かないので、それにあまり自分の意見が反映されていないとなると、中々政治に興味を持
ちづらくなるのかなとおもいます。漠然と社会がよくなってほしい、とおもいますが何をした
らいいのかわからないので何もしていません。デモとかは見えやすい活動だけどな
んだが大仰な上に効果があるのか疑問に思います。今回のアンケートはいい取組だと思
います。良い意見が出て暮らしに反映されることを願っています。子ども議会に参加して、
意見を述べました。近所の公園の遊具が、今は自分が小学生の頃より楽しそうなものが
増えていて、言ってよかったなともおもいます。
- 意見を表明するためには、市がどのような取り組みをしているのかについてまず知る
必要があるとおもいます。普段生活している中だけではまちづくりに対する課題を見つけ
ることは難しく思います。知識として市の取り組みについて知ること、さらに生まれ
る意見もあるとおもいます。また、小・中・高・大学生・社会人ではそれぞれまちづくりへの
関心の方向が異なるのではないのでしょうか。例えば大学生であれば意見表明だけでなく、
政策の実施まで携わりたいと考える人もいます。将来的に政策の成果を享受
するのは若者であるため、政策実施まで関わることは若者の長期的な市政参加にも繋が
ると感じます。
- 一部の大人は昔の考え方が定着しているせいで子ども・若者の意見を最後まで聞かず
最初から否定することがあるとおもう
- 大人の考え方が古い今は昭和じゃない
- 「若いから」「何も知らないのに」と一方的に決めつけて、今までは対話ができしていなか
った。これからはお互いを尊重して、意見交換し、川西市を発展させるために一緒に考
えていきたい。
- 誰もが意見や考えを表明しやすい環境を作ることが大切だとおもいます。堅苦しいもの
ではなく、様々な年齢の人々が集まり楽しんで交流できる環境が好ましいとおもいます。
また、定期的にインターネットや紙媒体でアンケートをとり、市民の生活でプラスとなる
景品やポイントがあると参加率が上がり、より多くの人々の意見や考えを聞くことがで
きるとおもいます。
- どうやって自分の意見を伝えることができるのかわからないので若者だからこそ SNS を
活用したり気軽に言える場があったら嬉しいです。働き方改革だからといって先生中心
に考えられるとこどもがやりたいことが満足にできていません。部活の時間もものすご
く短かったし部活は学生の特権なのに部活を無くすと言うのはこどもからしたら迷惑で
しかないとおもいます。その辺を検討していただけたら嬉しいです。

- ・ 意見を取り入れる世代の偏りが無く、幅広い層の意見を満遍なく取り入れることが理想的であると思う。そして、「市に意見を表明する」行いは、多くの子供及び若者にとってあまり現実味が無かったり他人事のように感じることも少なくはないとため、実感しやすく意見を言いやすい環境作りが大切だと思う。
- ・ 年功序列関係なく、合理的な意見は採用されるべきである。
- ・ 様々な物事を決める時、若者の視点からでしか得られないものもあると思います。
- ・ 子供や若者が意見や考えを表明できる環境づくりとその反映が目に見えるようにできれば良い街になると思う具体的には、学校等でアンケートや意見を取り実現可能な意見をピックアップ、協議し、取り組む等
- ・ 何かを決める時や、市の政策など、今の年齢でも恥ずかしながら全く内容が理解できないことが多くあります。何が重要でなにを伝えたいのか、子供から大人まで分かりやすくして欲しいなと思います。
- ・ すごく良いことだと思います。このアンケートを受けるとき画面を見て、私は少し緊張しました。だからこのアンケートの画面に少しキャラクターの絵やアニメを入れたら緊張せず入っていったと思います。
- ・ 今後大人や年長者は先は短いけど子供達や若者はこれからも長いので沢山若者の意見を取り入れて欲しい
- ・ いろんな年代から聞くことも大事。人それぞれの考え方があって、賛成があれば反対もある。すべて受け入れは無理だろうが、より良い方向に向けて修正は必要だ。
- ・ 私はこども議会に出たことがあります。あのときにこどもながらに自分の街のことを考えるきっかけになったのと、自分の考えをもって意見することが怖くないことだと自信ができました。もし今現在、こども議会がないのであれば復活させていまいちどこどもたちの意見を聞く場を設けるのがいいのでは無いかと思います。
- ・ 双方が意見を尊重し合える環境が大切だと思う。そしてその意見を尊重するには、その人がおかれている環境についての理解も必要であると思う。
- ・ 学校でオシャレ(ピアス、メイク、髪型など)を禁止するのは古い考えで今は、多様性とかが大事だしコンプレックスとかある子もいるから、昔の考えではなく時代に合わせる方がいいと思う！
- ・ 意見を聞かれる機会が無い。反映されるかどうかより、言えるかどうかの問題。
- ・ 将来的に若者の意見を反映したとしても、そのことを周知させないと今回のアンケートや部会を開催することの意味が十分発揮されないと思う。意見を反映されたことを周知させて若者に「政治に自分達の意見が反映される」実感を持たせて政治への意欲を高めさせることが重要であると思う。
- ・ 子供などが意見を言えるこのような機会を今後増やして欲しいと思います
- ・ 「社会は大人が回すもの」私は小さい頃、ただ漠然とそう感じていました。テレビで流れている難しいニュースを意味もなく眺めているとき、お母さんたちが仕事のことを話

しているとき、「大人はこんなにふうに働かないといけないんだなあ、難しいなあ」とよく思いました。あの頃の私は「大人になったら社会の一員になるんだ」と思っていました。今の私はそうは思いません。今は、「幼い子どもからご年配の方まで、余ることなく全員を含めて社会なんだ」と思います。幼い子どもも社会の一員なのは勿論です。では、何故むかしの私が大人だけが社会の一員だと思っていたのかというと、きっとそれは「社会がすごく遠いところにあるものだと認識していたから」だと思えます。テレビの中で難しい言葉話している人は幼い私にとっては確かに「社会の人」でした。ただそれはテレビ越しでしか感じる事ができないものでした。「ゲームは1日1時間まで」我が家にはそういうルールがあって、それに意見を言うことはあっても、「公園ではボールは使えない」に対して意見を言うことはありません。そもそも、意見を言えるものだと思っていなかったからです。社会はものすごく遠いところにあるから、意見なんて言えるはずがない、と。ただ、それが「社会はとても身近にあるものなんだ」「私達も社会の一員として、何か意見を言ってもいいんだ」と思えるような機会があれば、子どもと大人の距離はもっと近づくとおぼやかしく思えますし、よりよい街づくりにも発展すると思えます。また、大人が子どもの意見を聞いて、それを取り入れることによって、子どもたちは自信をもてるようになると思えます。

- ・ 子供・若者はこれからの世の中を作っていく存在であり、考えを他人に伝えることを学ぶためにも意見は尊重されるべきだと思う。自分が子供のころを振り返れば、小学校や中学校では大人が決めたルールに従うことが前提という雰囲気があり、不満には思いつつもそういうものだと思って生活してきた。今の小中学校が同じ雰囲気かは分からないが、そういった環境の中では、多くの子どもが無意識のうちに「長いものには巻かれろ」的な考え方に陥るように思う。そのまま大人になってしまえば、新しい物や考え方は生まれにくいし、日本が世界の流れから取り残される要因の一つにもなると思う。是非子ども・若者が積極的に意見や考えを言える環境づくりを進めてほしい。
- ・ 全て子ども・若者の意見を取り入れる必要が無いとは思いますが、意見が採用されるという前例を少しずつでも作り上げていき、子ども・若者が発言しても蔑ろにされないということを証明してもらえれば、少しは発言がしやすくなると思う。
- ・ 安全や苦情のことばかり気にして色々なことを禁止にしたり、縮小したりするのではなく、子供たちが楽しいと思うことはできるだけ規制しないようにしてあげてほしい(公園の利用規制や学校行事の縮小など)。私も学校行事がなくなった時は、一方的にできないと言われた気持ちになり、とても悲しく、今でもあの行事ができたなら、と思うことがある。おそらく子供たちは、大人たちが決めたことは覆せないと思っているので、決めてから同意を得るのではなく、決める前に子供たちの意見を聞いて欲しい。だからと言ってなんでも子どもたちの意見を聞くのではなく、大人と子どもの間で一緒にルールなどを決めれば、子供たちも納得して守ってくれやすいと思う。
- ・ 学生が意見を言える雰囲気やそれを取り入れる雰囲気をもっと作るべきだと思います。
- ・ 私の親はよく意見を聞いてくれるので困ってはいませんが、先生というのは中学も高校

- もあまり意見を聞いてくれない、聞いてくれても反映されない印象です。私たち中高生にとっては学校のことが一番身近な事(社会)なのですが、そこで意見が反映されないと失望します。社会も市もそうなんじゃないかと思ってしまう。例えば「プールは強制ではなく選択制にしてほしい、または男女でプールの授業の時間を別々にしてほしい」とか、「冬場のマラソンの授業を半袖半パンでさせるのはやめてほしい」という意見は全く聞いてもらえない。そのような意見がなぜ聞いてもらえないのか納得いくような答えももらえません。学校がこうなので、社会にも期待できない気持ちもありますが、...
- ・ 子どもの時から自分の意見が言える場がある事は子どもの成長や市の政策に反映され、良い事だと思う。そして、自分の住む場所についてや問題についてどのような対策が必要か等を知ること、将来的に市の取り組みや地域に関心を持つようになるのではないかなと思う。
 - ・ この便りが届くまで、川西市がこういった取り組みをしている事を知りませんでした。今後の取り組みか、進行形の取り組みかはわかりませんが、子どもたちが子どもらしく、安心してのびのび過ごせる街になればいいなと思っているので子どもの意見を取り入れる機会は増えて欲しいなと感じています。自分がこれまで街中で感じた事を市に伝えようと思った事もなく、市の取り組みも知ろうとしていなかったのととてもいい機会でした。ありがとうございました。
 - ・ 何か大イベントを作って地域の交流を増やした方が良いと思います。
 - ・ 自分から意見を発信する、という人が日本は少ない上、さらにコロナ禍以降減少傾向にあると感じています。放課後に友達と学校や公園で遊ぶ、地域の大人と自然に触れて学ぶ、という機会があまりにも少なすぎます。こういった経験が地域の絆を深め、縦社会をよりグッと近づけると実感しており、これが進めば子供はもっと意見を言いやすくなりますし、そうして出た意見を、私たちが謙虚に、そして前向きに取り入れて行くべきです。(20代より上の大人を指します)正直今のままでは関わりあいあまりにも浅く遠いと考えます。子供たちに大人たちと関わりを機会を作ってあげることから始めてみませんか。
 - ・ 子供達が思っていることを大人は、しっかり聞いて、子供達にも自身を持てるようにしてほしい。
 - ・ 中学校の給食が冷たいので、あたかかいま届けるか、電子レンジのような温かくできる設備を整えて欲しい
 - ・ 言いやすいように目上の方からどう思っているのか聞いてもらえれば言いやすく取り入れてもらえると思う
 - ・ 奥池公園の柿の木が切られてしまった。いつも実がなるのが楽しみだったからショックだった。公園に食べられる実がなる木があったらいい。公園で遊んでたら、うるさいと近所の人に怒られた。ボール遊びが出来たらいいと思う。
 - ・ 子供達の、求める空間が、できる。子供と、大人の文句がなくなる。
 - ・ どんな人でも、自由に気楽に政治に対して意見を言えるのは良いことだと思う。

- ・ 子どもが行政に考えを伝えることは、政治参加や意見表明の大切さなど、教育的にも学ぶことが多いと思う。
- ・ 家族手当てを充実させてください。川西市を離れる若者が多い気がしています。
- ・ 親の意見を無理やり通そうとする過保護な親が増えていると思う。子どもが自ら挑戦し、学ぶことが出来る環境が減ってきている。
- ・ 子どもの意見取り入れる気持ちはいいと思うけど、言いやすい雰囲気の時もあれば言いにくい雰囲気の時もあると思うから必ず取り入れた方がいいという風には思わないです。
- ・ 今の環境に満足している。
- ・ 大人は、子供のためにいつもがんばっててくれるとても大切にしてくれる
- ・ 発言し、自分の気持ちを伝えることは大切であり、社会で必要なことであるのでその場を是非たくさん取り入れて欲しい
- ・ いきなり市役所に行って子どものためにこうしてほしいですなんて言えません。
- ・ 必要!!「子どもの権利条約」
- ・ 子供の意見は高望みすぎる所があるため、現実的なものに絞り、実現して行けば良いと思う
- ・ 音楽の歌のテストをみんなの前でやらせたり、50メートル走をみんなの前でやらせるのは、苦手な人からしたら公開処刑のようなものだから、それで不登校が増えるのじゃないかなと思った。カウンセリングルームがどうか、不登校を減らす取り組みをしてるとか言っているけど、そこらへん（歌のテストなど）は何も考えられていないと思った。あと、副教科の必要性が感じられない。
- ・ 公園でボール遊びがしたいと思っていることを聞いてくれるアンケートなどがあったらいいと思う
- ・ 最近今の政治や選挙、世の中の問題などに興味を持つことが増えたと同時に不便に感じることも増えたように思えます。前まではそれが当たり前だと思っていたけど考えれば考えるほど改善したほうがいいと思うところが出てきました。お金の問題や周りの人の賛否など様々な面から考えなければならないので全てを改善することはできないと思うけどみんなの生活を少しでも豊かにするためには子供から大人までみんなの意見を聞いて納得できる答えを探ることが大切だと思ってます。その上で今されている政策、地域の状況をしながら話し合える場がたくさん設けられたらうれしいです。
- ・ 公園や学校の決まりやルールを子供たちも意見できるような仕組みがあってほしい。
- ・ 年齢関係なく、一人一人の意見を尊重することによって今よりもっと良くなると思う。
- ・ どんなときでもラフに相談出来る関係、雰囲気を普段から心がけるべきだと思う。
- ・ 話しやすい環境
- ・ 簡単に意見が言いやすい場を作る必要があると思う。
- ・ 1.公園でボール遊び出来る所を増やして欲しい 2.屋外の市民プールを作ってほしい 3.

屋内おくないで遊あそべる施し設せつを増ふやして欲ほしい4. 学が校っに行いきにくい子こども達たちが安あん心しんして学まべる場ば所しょ
をもっと増ふやしてほしい。

- ・ 大お人とは子こ供どもの事きを決きめつけていることが多おいと思おもう。学が校っの先せん生せいがそれあに当あてはまる。

3 おとな (30歳以上)

2 意見を表明することについて

(4) (3) で選んだ番号の理由、またはその選択肢を選ぶことになった経験について可能であれば、教えてください。(複数記載いただいてもかまいません。)

※ (3) で選んだ選択肢ごとに記載

【選んだ選択肢：意見や考えを言っても聞いてくれないから】

- ・ 考え方が違うから

【選んだ選択肢：意見や考えに自信がないから】

- ・ 自分で考える力ができてないから、一緒に考えてみる。
- ・ 求められている意見を返すことで、良い子でありたいという気持ち強い
- ・ 経験が浅く、自信なさそうな行動が見受けられるため

【選んだ選択肢：意見や考えを言うことが恥ずかしいから】

- ・ 間違いでも恥ずかしく無いことを言うしてみる。

【選んだ選択肢：意見や考えを言うことが面倒だから】

- ・ 自分の意見を持っていない。何事にも億劫に感じる。

【選んだ選択肢：意見や考えが大切に扱われなかったから】

- ・ 管理教育、やりやすい、従いやすい子供を大人が無言で求めているため、今までに意見を言っても大切に扱われなかった経験や諦めが、成長するにつれて言っても仕方ない、時間の無駄、関わりたくないと学習している

【選んだ選択肢：意見や考えを言える雰囲気ではないから】

- ・ 同調圧力、クラスの仲間の目が気になる

【選んだ選択肢：伝えたい意見や考えがないから】

- ・ まだ幼児

【選んだ選択肢：わからない】

- ・ こちらから察して、ああしたい？こうしたい？と聞くと、それが合っているのか自信がない。

【選んだ選択肢：意見や考えを言っても聞いてくれないから、意見や考えに自信がないから】

- ・ 塾に週6日も行ってる子供は本当はもっと遊びたいのに親に言えないのでしょうね。ストレスと疲れでいつも親に反抗してます。親子とも、もっとのびのびと楽しい生活ができればいいのにと私は思います。

【選んだ選択肢：意見や考えを言っても聞いてくれないから、意見や考えを言う相手が忙しうだから】

- ・ 年齢を重ねるほど、過去の経験から答えが見えてきて、若者の意見が間違っていると忙しいので説明なく否定して、聞いてないことが多々ある。

【選んだ選択肢：意見や考えを言う相手が忙しそうだから、意見や考えを言うことが面倒だから】

- ・ 親が塾、行動などを決めているから

【選んだ選択肢：意見や考えを言う相手が忙しそうだから、意見や考えを言える雰囲気ではないから】

- ・ 相手側の問題

【選んだ選択肢：意見や考えを言うことが面倒だから、わからない】

- ・ 聞かれても、わからない事があるから

【選んだ選択肢：意見や考えを言っても聞いてくれないから、意見や考えを言う相手が忙しうだから、今まで言った意見や考えが反映されたのか、されなかったのか教えてくれなかったから】

- ・ 保健室登校や不登校の子どもたちと関わる中で、言いたいことを言っているようで実は本音を言えない場面を数多く見てきたから

【選んだ選択肢：意見や考えに自信がないから、意見や考えを言うことが恥ずかしいから、意見や考えを言うことが面倒だから】

- ・ 意見や考えを求める状況が無いから。求められないから。

【選んだ選択肢：意見や考えを言うことが恥ずかしいから、意見や考えを言うことが面倒だから、今まで言った意見や考えが反映されたのか、されなかったのか教えてくれなかったから】

- ・ 自分がこども若者と言われた時の感覚から選択しました。恥ずかしい、面倒臭い、発言に対する反応が分からない、ほどの時代であっても共通のジレンマだと思えます。但し表情が乏しくなってきた事は気になります(仲間といる時と他人と対する時の表情のギャップが格段に大きい)

4 市や施設への意見について

(5) 子ども・若者が自分の意見や考えを表明することや子ども・若者の意見や考えを取り入れることについて、あなたが思っていることを自由に記載してください。

- ・ 子供もそうですが、私自身も思っている事があります。学校や教育委員会から時々アンケート等が届いていますが、とにかく意見が全く反映されない、協議されない、言っても意味がない、形だけのアンケートです。だから、意見や要望を形にする事をまず念頭に置くべきかと思えます。意見は賛否両論あり、全てを反映する事は不可能ですが、そういう場を設けているのであれば、よしとする意見を少しでも反映するべきだと思えます。そうでないと、発信する側も言っても仕方ない、という諦めにかかります。
- ・ 今の教育ではタブレットなど情報が電子化されているので市の広報を直接教育の場で伝える川西市と市民との関わりが若者も我々も関心がないのが実情ではないかと思えます。
- ・ この間中学の給食のふりかけ論争みたいにその後大人が議論してくれたら言った甲斐が実感できて嬉しいと思う意見をいう場所も必要だがその後が見えたと話を聞いてくれることが実感されてより積極的になるのではないかと思えます
- ・ 若者は敏感です。国際的な標準にあわせ、若者に関する条約に基づいた市政を希望します。
- ・ 柔軟な考えを取り入れられるので、良いと思えます。しかし、経験を重ねた大人だからこそわかる意見もあるので、若者と大人が対等に議論できる場ができれば良いと思えます。
- ・ 若者が社会にかかわる機会が圧倒的に少ないと思えます。トライやるウィーク等小学生や、高校生にもあれば良いと思えます。クリーン作戦等もそのよい機会だと思います。
- ・ 子供目線じゃないと気付かないことも沢山あると思うので、小さな意見も拾いあげて、より良い町作りに反映させて欲しい
- ・ 若者の意見は実現されなくても聞く事が大事だと思う。
- ・ 意見を言って聞いてもらえる、意見を大切に扱ってもらえると思えるような働きかけが大事だと思う。また、意見の伝え方を知る機会がないと、いくら意見を言っても伝え方が悪いと、市政に携わる大人は聞き入れないと思うし、意見を言う側の若者も、「言っても聞いてもらえない」という不満が残るため、子どもの時から意見の伝え方、伝える先によって変えるなどの、意見を伝えるスキルを知ることが大事だと思う。
- ・ 子どもたちに聞きたい場合はオンラインでのアンケートより、学校で用紙を配布しその場で子供達に記入してもらおう方が回答率も上がり素直な答えが聞けるのではないのでしょうか。給食のふりかけ問題も、大人が塩分や食育の話で言い争うのではなく、なぜ子供達が持って行きたいと言いつつ出したのか、そもそもの原因を子供達に聞くべきではないかと思えます。

- こども、若者の意見も、大切ですが、その他大人たちの意見も大切です。色々な世代の意見をバランス良く拾っていくことが大事ではないでしょうか。
- 今日までこどもや若者の意見等を広く聞く取り組みがされてこなかったことから、受け身の姿勢で関心をもっていないのではないかと感じる。条例策定の前に、意見表明できる雰囲気、環境を整えることが重要だと思う。だから条例の制定で解決は疑問に思う。
- 私の職場もですが、年配の方が多く今はこういうのがありますよと言っても昔からだからと変えようとしません。年配の方が多いためつついそちらの意見が反映されることが多いです。少子高齢化になり、年配の方の意見が多いですが、ぜひ、これから社会を支えていく子ども・若者の意見も聞いてみてほしいです。みんなが住みやすい社会になることを願っています。
- 地域の若者や子供を巻き込んだイベントなどで話す機会を増やす。学校で模擬選挙等して地域社会を身近に感じさせて、自分の環境は自分で守るものと教える。地球は危険状態であること。劣化した社会は若者子どもが立ち上がって頑張りたい。我々大人は責任を持って、子ども若者にバトンタッチしなくてはならない。
- ちゃんとしないと、と大人が思っている。ちゃんとすることを大人が決めてしまっているの、こどもの意見が反映されにくい。高齢化社会で大人の人数が多いので、こどもの意見は少数になりがち。こどもの発想に大人がもっと寄り添うことが必要。子どもが意見する場所が少ない。言っても仕方ないとなる。なかなか広い公園がない地域で、中学生の子どもがいるが、自分で小学校に連絡して、今から校庭に遊びに行ってもいいですか？と許可をとって遊びに行ったりしている。きちんと対応してくれる先生（大人）もいます。
- 聞くだけではなく、聞いた後が大事だと思います。気持ちを吐き出し、それが活かされた時、若者は安心感と自信を持つことができます。川西市は高齢化が加速していますが、高齢者やこどもだけではなく、独身者の視点も見捨てないでほしい。こどもの意見をどこまで責任を持って取り組むのか、できることとできないことの線引き、いろいろ難しいと思いますが、あらゆる人にとって川西が住みやすい町になって欲しいと思う。
- 若い世帯の不満を解消していることをしっかり伝えてください。
- 今のこどもは色々な意味で心身ともに疲れてると感じてます。暗いこどもが多いです。外で遊んでるこどもも見かけません。家でゲームばかりしていると聞きます。このままでは、将来、心身の健康が心配です。もっと明るく元気でハツラツとしたこどもが増えて欲しいと願ってます。こどもの幸せは日本の未来の幸せだと思います。どうしたらいいか、みんな考える時期が来ているのではないのでしょうか
- いろんな生の声を聴いてください関わってる大人の声も聴いてください
- 年齢層により意見が違ふと思いますので、意見調査を今回と同様に必要な年齢層にすれば良いのではと思います。自動運転、AI という時代、若者参加型の川西市は明るいですよ！
- 今のこどもたちはどうせ言っても無駄、、、という気持ちが大きいと思います。大人でもそう思うような世の中なので。。それを、言えばちゃんと聞いてくれるんだ、変えることがで

きるんだ！という事が分かれば、少し未来に期待できるようになるような気がします。国に失望している今、川西市に住んで良かった！と子ども、若者たちが思えるような市になる事を期待しています。子ども達、若者達がちゃんと未来に夢を持てる社会にしてください。

- まだまだ距離感がある。何をしているのかわからない。まわりくどいきもする。
- どうしたいのか？ゴールの絵姿ビジョンが見えたら、もっと意見が言えるのだが、お役に立てず申し訳ありません。
- 是非やっていただきたい
- 一つの家の子供であると同時に社会の一員であることを認識して欲しい。そして何に社会に守られているかも知って欲しい。社会に守られ守る人に成長して行って欲しいです。それぞれの人は皆違っていて合計してやっと1人前になっていくと考えて欲しい。だからひとり一人の意見や考えが必要でそれらを合わせて何とか纏めていかなければいけないと。
- 先日報道もされていた学校給食のふりかけ問題などせっかく自分たちが意見し決定されたことを一部の大人が自分の選挙活動のためにマスコミを巻き込み大事にした事で意見を出した事で面倒なことになったと感じてしまい次から何か言うことをしなくなる可能性があると感じられた。最後は市の決定の行程に対する問題提起と話をすり替えていた事に憤りを感じた。子供達の意見を聞き取り組んでいこうとする市の体制は間違っていないしこれからも進めて行ってほしい。その事で子供達が自分たちの意見を言い、叶えるためにどのような活動が必要かを考える機会を得ることができ、また多数の意見だけでなく少数の意見を聞くことで幅広く考える力を身につけられるのではないかと思います。大変だけど頑張っていて欲しい。
- 広く意見を聞き、これからの市政に取り入れるのも有りかな！
- このアンケートは子どもや若者に聞くべきであって、そうではない我々に聞いてもあまり効果は望めない気がします
- 子供が大きくなると川西を離れるケースが多いと思ってます。子供が大人になった時に住みたいと思えるような街作りを考えて行かないとダメだと思ってます。
- どうしても年寄り人口が多く、選挙対策や公約もそちら方面に気を配っているのが子どもたちもわかっていると思う。子育てしやすい町、子どもが輝けるように…等綺麗な事を並べても、正直近隣の自治体(伊丹市、宝塚市、池田市等)と比べて子どもを育てやすいという感覚が親にもない。適度に自然も多く、源氏縁の地として有名な川西市を子どもにも好きになってほしいが、そのためには子どもの意見が小さなことからでも反映されているという実感を持たせてあげたい。例えばウェブや紙のアンケート、LINE、Instagram等で子どもから要望を募れるようにし、広報誌のミライフで先月はこんな要望がありました、そしてこれとこれはいつまでにこんな形で検討してみます、というように手軽に見られて且つ市が動いてくれているという報告があっても良いと思う。それも検討で終わらず、次やその次の号等で〇月に出たこの要望は今こんな進捗ですと報告を引き

つづ 続きしたり、途中で頓挫した場合でも包み隠さず結果を載せたりという、出た意見を大切に扱っているという姿勢が大事だと思う。

- ・ きっと子供たちからというのは難しいというか「そんなん知らんし」で終わりそうな気がするので学校で学ぶ中で関わりをもつことで何かのきっかけになってくれるかも？
- ・ 政治に興味のない国民性。まずは学校教育の中で、各市役所の人々が市の役割や活動や周知を集めて物事が決まってくっていく仕組みなどを説明して学ぶ機会が大切だと思います。アンケート(投書箱)が必要だと思います。
- ・ まずは、大人がしっかり筋を通し、何をすべきか何をやり遂げたいのかを掲げ行動してからの話。子ども若者に迎合するのではなく、子どもや若者は、真剣な大人の姿を見て、自然と意見をし、真剣に物事に取り組んでくる。川西市が真剣に自然豊かな町を作り上げていきつづけることをできるのか。キセラ公園のせせらぎの水は涸れてないか、花や緑は常にメンテナンスできているか。小さな公園さえも維持できないのであれば、若者子どもはついてこない。
- ・ 意見や考えがあっても、どの様に伝えたらいいのかわからないと思う。色々な窓口を作って、聞き入れる体制があって欲しいと思う。また、若者同士で話し合う機会から、意見が上がって来ると思うので、いろんな集まりもあつたらいいと思う。
- ・ 子どもや若者の独特な視点から地域社会の課題を模索して欲しい。
- ・ 意見や考えを聞くのは良い事だとは思いますが、取り入れる時はよく考えて実行してほしいです。
- ・ 大人には、思いつかないような、奇想天外な考えや意見があるかもしれない。そんな自由な発想を言い表せる空気感はいいなと思う。全ての子どもが尊重されていることを、子ども自身に伝わると良いなと思う。
- ・ なぜ大人と子供を分ける必要があるのか意味がわからない。意見を聞いて欲しい人は何かしら手段を自分で考えて発言する、興味ない人や意見のない人は発言しない。
- ・ 多数の意見を盛り込みたいなら、匿名性が必要なので、SNS活用してください。積極的な意見を取り入れたいなら、計画段階から若者の意見がつつり取り入れるべき。川西市の財政がきびしいので、予算的なことがあるとは思いますが、活性化には若い人の定着が不可欠ですので、意見を取り入れるのは大賛成です。
- ・ まずは興味がないと意見を持つこともない川西市自体に興味を持っていない若者が多い。まずはPRからなのかなと感じる。
- ・ 皆が意見や考えを直ぐに言えるものではないと思います。そして、出て来ない所に本音が隠れていると思います。そういうのを引き出す雰囲気づくりが大事ではないかと思います。
- ・ 子どもや若者の意見を存分に受け取り改革できたら、市は活気にあふれ住みやすい街になるとおもいます。また少子化にも歯止めがかかるのではないかと思います。また若者の意見を取り入れる事で高齢者に思いやりのある優しい町になるのでは無いかと思います。そんな町になって欲しいです。

- 我が子に『市の取組に対して興味があるか？』を尋ねたら、小学生は『ない』『どうでもいい』、高校生は『興味はあるけど、自分の事で一杯でそこまで考えられない』との事でした。どうでもいいという事は、市が子どもたちの事を考えて取り組んでいるかが伝わっていないのか？または、机上の事で自分には関係ないと思ってしまっているのだと思いました。政治と一緒に、世界が違おうと…、所詮届かないと…。高校生は前向きですが、学校・部活・習い事・などでひと月に休みが1日か2日しかないくらい忙しい様です（先生方も同じで心配です）。ここまでくると、学校の授業の一環として取り組む事も一つの方法かと思いました。（その場合は市が中心となってる前提です。先生ではないです。）それにより、市役所がどんな仕事をしているのかも理解が深まると思います。子どもたちは経験上、意見や考えを表明しても、受け止めてもらえなければ表明をやめていきます。まずは、子どもたちの発言に耳を傾け受け入れ肯定する事が先の様な気がします。なぜいいの？なぜ必要なの？なぜいけないの？子どもとおとなのコミュニケーションを大切にしていきたいです。
- 自分たちも市政に意見や考えを言えるんだということをまず、市側から表明、説明して、その機会を作る、意見を聞く、じっくりと耳を傾ける体制を創らないといけない。私自身不勉強ではあるが、学校内に設置したセオリアは子供が不登校であるのに学校内に設置した意味はあるのか。子供や若者の意見を聞いて、学校内に設置したのか、市の都合で設置したのではないかなどと思っていたのですが。
- 児童 アンケートをもらう時間を学校で割ってもらう。若者 気軽に意見が言える場、エックス、インスタなどで呟ける場所をもうける。
- 「言っただって何も変わらないだろ、仕方がないんじゃないか」と考えていないでしょうか。X、Instagram、LINE、そういったSNSを活用されると良いのだろうなあと思えども、若い人が川西市公式のそういったページに関心を寄せるかどうかは疑問でもあります。学校の掲示板に「どんなことでもいいから意見を寄せて欲しい」という、ポスターまでは行かない、QRコード付きのチラシや張り紙的な、そんな軽いものを出してみてもどうでしょうか。あるいは学校単位で希望者を募って、川西市に意見をぶつける場を設けるとか…。学校対抗だとアイデアを競い合う気持ちなど生まれませんか？彼らが自分が社会を変えていけるといふ自信や確信を持ってもらえると嬉しいです。選挙の投票率なども全てはそこに問題がある気がします。まあ、政治に参加したいと思えないほど彼らをずっとがっかりさせてきたのは、現在の大人である私たちなのではないでしょうか。
- 今の若者はSNSを通じて情報を取り入れていると思うので、もっと川西市はSNS発信すればいいと思います。そのためには子育て支援は必要だと思います。一つは中学生の給食。私もフルで働いてたので、毎日のお弁当は苦痛でした。住みやすい町、子育てしやすい町になれば、多くの若い方が川西市に住みたいと思ひ、それが今後の川西市の発展に繋がると思ひます。もう一つ、年配の議員を減らし世代交代も必要！同世代の議員がいることで、若者の考えや表明も発信しやすくなると思ひます。
- 子どもの意見、特に学生の年代から意見を聞こうと思つたら、学校のホームルームなどの

- 時間を頂戴して、直接、子ども達に接して、生の意見を聞いたら、良いと思います。子どもからの意見をもらうには、待っていても聞けない、と思うので、こちらから積極的に行かない、と意見は聞けないと思います！
- いろいろな年代の考え方を聞くことは、大事。
 - 今ある現状を答えとしていて、検討すらされない場合が多い。例えば公園でのボール禁止の張り紙。ご近所からの苦情によって張り出されたのであろうが、その子達は学年も上がり遊びに来ない。その下の学年からは全くボール遊びができない。子どもは書かれたことを守る。どんなに小さい子が母子でボール遊びをしても、それはしてはダメなこととして避難される、せっかくの公園も誰もよりつかなくなる。極端すぎる張り紙。
 - Instagram、TikTok、YouTube など SNS最大活用する
 - 学校に行ってるを前提にしないでほしいです。校則が今の時代に合っていないです。早く昭和の時代から令和に向けて一掃してほしいです！子供たちに自由を与えてください。
 - 自分から意見を発するのは勇気のいるものだと思います。自分の意見が反映される？と半信半疑だと思います。例えば、夏休みの宿題で「市政に関して改革案」新聞などを出してもらっていい案に対して図書カード進呈するように小さい頃から市政に対して考える→意見をいえる機会をつくる。いい機会かなと思います。社会の変化に伴って(それ以上早く)市政に変化があれば、川西はやってくれるんだ。と意見もでてくるかも知れないなと思います。川西のこどもは自分のこどもだと思って市政に取り組んで頂きたいと思います。例えば、体力、知力、コミュ力のあるこどもを独り立ちさせてあげるにはどうしたらいいか？をまず大人が真剣に考えて実際に行動におこして欲しいです。実際、子育て中に感じた事をお伝えしておきます。公立高校に関して行きたい、綺麗な学校の整備をして欲しかった。です。実際いってみたら、とても古い。是非ともいきたい？と問われると？と感じです。受験に対しては、先生方のフォローはよくして頂きました。川西を良くしていく為、市の職員の方が実際に外向いて感じて頂き、市長に忬度なく意見の言える環境→改革ができるのが理想だと思います。子育て(幼稚園)学校(進学)就職(通勤手段)介護(地域のつながり)全てにおいて川西が魅力的な市になる様に、真剣に考えて取り組んで頂きたいと思います。宜しくお願い致します。
 - 例えば、自転車通学や校則について、大人だけで決めるから違反する子どもがいると思います。元々なぜだめなのかの説明もないまま、古い考えを押し付けるのではなく、多くの子どもが理解して納得する仕組み作りから始めることが大切だと思う。時代は変わっているのに校則は昭和のまま。なぜ髪型に指定があるのか、なぜ私服の中学が存在するのかの説明を叱るのではなく、丁寧に説明してあげて欲しい。自由な発想から大人になって成功している者も存在するので、子どもの中にはそういう事を盾に反発心を強く抱くタイプもいると思う。誰かが説明してほしい。
 - やらないといけない。
 - そのような場が、いろいろな機会にあるといいし、彼らがそのことを知る機会が多くあればいい

- ・ 子供にも人格があります。全てを聞いて採用されるわけではありません。反映することは必要だと思えます。
- ・ 若者に限らず誰もが意見を出しやすい環境や仕組みは必要だと考えますし出した意見がどのように反映されたかの広報も大切だと思いますが全てが反映するような誤解が生じない(却下もある事)仕組みが重要だと考えます
- ・ 時代が変化しているのに、学校の仕組みが旧態依然としていて、個人の意見より集団としての行動の方に重きが置かれていて、自由な意見表明場面が狭められていることを感じています。特に、声なき声は届かないです。社会が弱者を作っていることのもどかしさを感じています。見えてこないこと、追いやられていることを見つけてくださるような行政のあり方を望みます。
- ・ 自由な意見や発想を出しても、いいんだと言うことをいろんな所で知らせる。そして意見や考えを言うことには、責任が伴うことも教えなければいけない。
- ・ 意見や考えを言っても、伝わっているのか、伝わり方が中途半端なのか、経過がわからないから、意見を聞いたなら、それに関しての解答は必要。その方法は、個別でなく統計的に数値で表しながら説明は必要。
- ・ 意見を聞く際には不登校や障がいのある子など、様々な人からの意見をまんべんなく取り入れて欲しい。
- ・ 子供も色々な意見を持っています。ただ、国語や算数が苦手で言葉として正しくいえないのです。証言でも、子供の言っていることと軽く扱われるのではないのでしょうか。聞き手が子供を信じて、しっかりと引き出す根気がいると思います。
- ・ 子どもから様々な意見などを取り入れることは重要だし大事だと思う。
- ・ 学校や家庭、地域での暮らしで、どんなことを感じているのか、分け隔てなく定期的に、気軽に大人に言え、大人が聞ける機会があると良いと思う。
- ・ 今回の質問は少々抽象的でありもう少し噛み砕いたものとすべきと感じました又年輩者が回答出来る内容ではなかったのでは、ないかと思えます。アンケートを配信する前に役所内で若者中心にディスカッションをすべきではなかったのではと思えます！
- ・ 未就学児の意見を集めることは現実的にできないので、その親の意見を代わりに取り入れても良いのでは。
- ・ 年齢関係なく、一人の人間として、対等に接し、耳を傾ける姿勢を持つことは大事なことで、若者たちの考えを取り入れる姿勢は賛成です。
- ・ 子供や、若者が周りにいないので相談や話しを、することが無い。
- ・ 例えば公園の遊具を新しくする時に2種類のどちらがいいか子供が投票して決めると簡単に意見を聞くこともできるのではと思えました。息子は小学生なので意見を言うのが難しいのと、考えることもあまりしてなさそうなので学校に直接行って話を聞かせてほしいと思えます。
- ・ 意見を言える子供は恵まれた環境にいる子供であると思う。意見が擱い上げられない

- 環境の子供こそ自治体は目を向けなければいけない。そんな仕組みがほしい。
- 意見と言える場所がわかるようにすること。安心して言っても良いのだと思えるようにすること。
 - 民主主義の基本的な考え方を小学校段階から教え、一人ひとりの考えや気持ちを表明することが自分たちの社会を作っていくことにつながることを具体的に体験させることが必要。
 - 家族の会話によくあるのですが、もし次に住むならどこがいい？と話題になると、必ず息子は川西でいいと言います…都会田舎な感じが居心地いいそうです…生まれ育った町を好きだと思ってくれるのは嬉しい事です。坂が多くて大変だけど、この町で子育て出来て良かったと思っています。
 - 言われたことしかできない子どもや若者が増えてると感じている。ネット社会になることで意見や考えを伝えやすくなってると思うが、対面で、意見や考えを言えない子どもや若者も多いと思う。学校で、意見を述べるチャンスを作るのもいいかもしれない。
 - 市役所のどこにいけばいいかわからない
 - 1年に2、3回程度中学校、高校での意見交換の場を設ける。取り組んだ結果等を市のホームページや地域での回覧板を利用して知らせる。
 - 市政等に意見を述べることは、ハードルが高いと思います。教育現場で、市政について知ることや将来の希望や取り組みを考える機会を与え興味を持って貰うことが必要だと思う
 - そもそもここまで自分の住んでる市に目が向いてるか疑問です。広報などで意見募集くらいでは弱いかと思えます。意識が高い子ども、若者もいるとは思いますが、広く意見を集めたいなら踏み込んだアピールが必要なのでは？集まりすぎても精査が大変とは思いますが、まず意見を集めたいならそこは頑張りどころなのかと。
 - 子供からの意見が、本当に子供が考えた意見なのかどうか判断のつかないものもある。他の人から聞いた内容と似たものが多いのが気になっています。こちらが知りたいことは、理由を説明したうえで、答え易い質問をして、聞き出すのがいいと思う。なかなか本音はつかめません。
 - 子ども、若者の意見をばかにしないこと。ブレインストーミング的に色々なアイデアを出せる機会を設ける。若い人ほど常識にとらわれない斬新な意見を出してくるはず。使われない施設や施策ではなく、将来を担う子どもや若者に有効利用されるものを当事者の意見を反映して実現できれば、市の成長ドライバとして機能できると思う。
 - 市との距離を近づける為の工夫や仕組み、特に将来の諸問題についての情報交換等の場づくりー講習会、教育、他の市などが必要な？
 - タウンミーティングやアンケートで出された意見を請願と同じレベルで検討し、○×では無く、貴重な意見として捉え議論し、その回答を定期的に市民にお知らせしてもらえると、どんどんブラッシュアップされていき良い方向へ行くとと思う

- 私の地域の子どもたちは挨拶も率先してしてくれるしっかりした子どもたちがいっぱいいます。機会を設けてあげれば、市役所でも会議でも出席してはっきり自分の意見を述べる事ができるとおもいます。子どもたちの意見・考えが知りたかったら、そういう機会をたくさん設けるべきだと思ひます。
- 若者の意見を取り入れて市が検討を重ねる事が大切だと思ひます。その結果を若者と市民に報告して意見の交流を促すと市がますます発展すると思ひます。
- まだ幼い子どもであっても、こうであったら良いなという気持ちは多かれ少なかれみんな持っていると思ひます。しかし、それを表明する場も、その意見に共感した親がそれを表明する場もなかなかないように感じます。近頃は子どもたちも何かと忙しいため、意見がある人をどこかに集めるという手法でなく、学校や幼稚園・保育園でアンケート用紙を配布する(場合によっては親が代弁して記載するというこゝもあつて良いと思ひます)、授業の一環として子どもたちの意見をまとめて発表する、といった取組が進んでいけば良いなと思ひます。また、川西市は南北で雰囲気もかなり変わつて思ふので、学校や幼稚園などの1つのまとまりごとに意見を聞くことで、地域ごとの特色ある意見などもでてくるのではと思ひました。子どもたちが安心して暮らせる川西市であり続けられるまちであつて欲しいと思ひます。
- 住み良い川西市で子ども達が、意見や思つている事、沢山出して頂き安心の川西市にしてもらひたいです。
- 意見を取り入れると一言で言つても、どんな意見が出てきてどんな意見を反映させるかが全く見えてきません。現状のアンケートにおいて何に賛成しているのかよくわからないまま回答したような状態です。おそらく子ども達からしても、「意見を言えてますか?」「意見を言う場はありますか?」と質問されても、本質を捉える事は難しいかと思ひます。アンケート内でも回答しましたが、子ども達に“どんな市政をしているか”“どのような施策があるか”を周知してもらふ事が大前提ではないでしょうか。大人ですらすべて把握できている人はなかなか居ません。ですが子ども達が、まず情報を得、本人のなかで思考を重ねてから出てくる意見を大切にしてもらひたいと個人的には思ひます。
- 若者の意見も大事かもしれませんが、年寄りの意見も聞いてください
- 現状、子供・若者と市の接点が無いように感じます。→市の方が学校に行つて説明したり、子供の意見を聞いたりするのは良いと思ひます。そこから今後、どういふ形で子供達と繋がるか、学校の先生にも協力頂き、ネットを利用して意見交換出来るようにすればベストで、その方法が分かれば成人になつても意見を伝える人が増えるのでは、と考えます。
- 個人的には子供がいないが、市が子供や若者をフォローする事が全体の底上げになると考える。手伝ひが必要なら、高齢者も上手く利用して頂きたい。
- 川西市はここが他の市町村と違つて言えるものを子ども・若者に大きく訴え続ける事が大事だと思ひます。親とも語りあえる話題ともになります。そしてそれが町に対する誇りにも、愛着にもなります。川西市はそれだけのアドバンテージがある町です。

- ・ コロナ以降、困りごとのある子供たちは増えていると思うので、意見が取り入れられたら、子供の成長にもよいと思う。
- ・ 市長がたまにインスタライブをしてくれているのはありがたいです。ただ子育て中なのでなかなか見れないし、意見があってメッセージを入り力したくても子供が泣いていたりするとなかなかできず、私達若者の声は届きにくいと感じています。特に子育て世帯。
- ・ 意見、考えをどこにどのように発信すればよいのか分かりやすくして欲しい。窓口的なところがどこなのか？私自身分らないところです。
- ・ 子ども、若者は、将来住み続ける事は考えておらず、成人式までの事ぐらいしか考えていない。図書館、児童館、公民館、私立学校の無償化などは、親が考える事だと思っている。学校でのいじめ、ネグレスト、ヤングケアラー、勉強ができる場所や環境、孤食、ぐらいしか、当事者という意識はないとおもう。私は大学勤務だが、学内ではカウセリングの専門家があり、トイレのドアに予約電話番号を貼っている。何か、方法を考えてもらい、悩んでいる子供が減ればよいなと思う。
- ・ ①気軽に参加出来る機会を設ける。主催者も柔軟な考えを持った人をお願いする。②川西市の考えと若い人の考えが乖離していると思われるのでまず意見を聞く事からはじめたらどうでしょうか。③時間がかかると思われるのでしっかりとした組織作りが必要です。
- ・ 若者が自信を持って自分の意見を述べ、行動に移すことができるためには、自己肯定感を高め、小さなことでも成功体験を積み重ねなければ難しい。近所に親や教師以外の信頼できる大人が一人でもいることが大切。損得勘定ではない人間関係が築ければ、もっと若者達は自然と行動を始めるに違いないと思う。子供に対して大切なのは、大人のエゴで子どもの良さを潰さない、邪魔しない。伸ばしてやろう、などと不要なお節介をしない。ただ、場と話し相手を提供してあげれば、色々と傷ついても何とか生き延びてくれるのだと思う。
- ・ 折角考えた制度も、膠着マンネリ化させないように、絶えず活性化しているように工夫してください。ありがとう。
- ・ 小学生がスケートボードを隣の市へ行って練習している。川西には公園はたくさんあるが、幼児しか遊べない。スケボーのできる場所がほしいというのは、何年も前からまわりでよく聞くが、実現されないままなので、下の子は隣の市まで通ってスケボーをしたいとは言わなくなる。意見を言う前に、それはもう言うてあるけれど叶わない、と知らされる子供がいるのは哀しい。
- ・ 自分の経験から言うと、子ども、若者に限らず、相手を一人前の人間として扱うことが基本だと思う。私自身は戦後の数年間を子どもと若者として育ててきたので、とくにその思いが強い。子どもや若者は私たちよりもずっと表現力や発表力に優れていると思うし、それを正當に評価すべきだと思う。
- ・ 川西市の取り組みや今後の在り方をわかりやすく関心を持って貰えるように発信して、意見等を言いやすい方法で実施して、市と子供若者両方が意見交換発信だけでなく行動

していただけるようになって欲しいです。

- ・ ども・若者が自分の意見や考えを表明することはとても大切だと思います。はじめは、身勝手な要望みたいな意見が多数出てくるかもしれませんが、行政当局との話し合いで市政へのより有効な意見も出るようになると希望もふくめて思います。これからは、政治も経済もソフトが重要になってきますので、良い意見やスマートな発想は宝物です。
- ・ ども、若者の代表と市の担当者との話し合いの機会をつくる。(年1~2回) 目安箱のようなものの設置。
- ・ ども・若者の意見や考えを表明できる機会を作り、取り入れられた意見がどのような結果になっているのかをども達自身が体感できることが大切だと思います。また、人ごとではなく自分ごとと捉えられるように、周囲の人間が上手くファシリテーターとなれるような技能も必要だと思います。どもや若者の自由で多様な発想力を活かし、子を持つ親にとっても魅力的な持続可能なまちづくりを期待しています。
- ・ やっぱり選挙もあるので議員の方々、市長も、影響度の小さい若者の声が反映されにくい状況にあるのは理解できる。ただし、若者もこのことを分かっているので何も言わない、声を上げて意味がないと判断して現状に至っていると思う。なので、上の立場の方々には、若者の声をどうやって集めるかを意識してもらいたい。あと、後援会にも若者を増やすことを考えてほしい。政治への興味はここからかなと思う。
- ・ 大人は、次代を担う人として子どもや若者が成長するよう愛情と理解をお互いにもち、協同していくことが大切である。一方、行政、学校、地域、家庭及び職場も相互に連携し、まちづくりに子どもや若者の意見、提案が定期的に取り入れられる環境を作ることでも大切である。更に、今市が何を考え、何をしようとしているのかをタイムリーに市民に対して情報発信していくことも大切と考えます。
- ・ 若者ばかりを考えるより今の親があまり判っていない。親を見れば子がわかる～常識が判っていない。古いと言えばそうかもしれないけど～若い人は話をしてみて自分がよければそれでいいみたいです。
- ・ 自分の意見を認識し、表明することは小さな子どもであればあるほど難しいように思います。子どもたちが、どんな意見でも受け入れてもらえると思える環境を作っていければいいなと思いました。
- ・ 様々な個性を持った、性格が一人一人ちがう子どもたちの意見を、一つ一つ聞き入れ、受け入れていくことは難しいことではあるが、大人だけではなく、考えが柔軟である子どもの意見を取り入れていくことはこの先、大変大切なことだと思う。小学校、中学校で、教師には言えないことであったり、学校で何かしら悩んでいたたりすることも、川西市が、子どもたちの意見、おもいを聞き入れるよ！という簡単にできる意見箱などがあれば、不登校の子どもたちから、小さな悩みを抱えている子どもたちまで、利用できるのではないかとおもう。大人だけでなく、若者の意見も聞いてくれるようになる川西市であれば、さらに私も含め子育てもしやすくなっていくのではないかとおもう。
- ・ 市の予定している施策などを、わかりやすく公開し、若者対象でアンケートをLINEなど

の馴染みやすいプラットフォームで^{おこな}行う

- 家庭内でコミュニケーションがとれているのか？に、^つ尽きると思っています。取れていれば、^{しょうきょくてき}消極的な子どもたちの意見も親(大人)が代弁すれば良いわけで。
- 学生なら学校(小学校、中学校)で意見を聞く時間又はアンケートを^{もう}設ける。
- 子ども・若者が自分の意見や考えを^{ひょうめい}表明できる政策をなぜ^{せいさく}推進する必要があるのかわかりません。いわゆる立法事実の正当性も説明がないですね。LGBT関連法と同様で市民活動家の新たな利権づくりが^{しん}真の目的に見えます。本当に子供の将来を^{かんれんほう}考えてるなら、市政を通して人格形成に^{しん}いかに寄与するかを^{かんが}考えるべきです。条例を作る前に、市職員が市民の模範となるように^か振舞えば、それだけで親を通し若者を変えるでしょう。過去に電話で不愉快な思いをした者としては、このようなアンケートも^あアリバイ作りが目的と^{かんが}考えてます。子供に媚びるような条例だけは^{しゅうらい}作らないでください。将来の地域や国を支える人たちが^さ後悔しないように十分^き広く意見を聞いて下さい。
- 親が子供の意見を聞き市に^{はな}話す
- 子供、若者達の身近で困っている事やこんな物があつたらいいとかこんな事をしたいなど思っている事が一杯あると思います。川西市を担ってくれる子供達ですぜひ市の現状を学校で話す機会を作して下さい。自分達がどんな街になれば^す住み続けたいかを聞いて欲しいです
- 子供、若者のための市の施策なので^い彼らの意見を取り入れ、検討することは当然。「君たちの市だよ！」を^{きみ}前面に出し、実現することで参加意欲を高める。
- 市政がわかりやすいように子供向けの^{はっこう}広報紙を発行する
- まずは子供、若者が自分の意見や考えを持つ事が大切だと思えます。学校や家庭で大人と日々色々な事を^い話し合う機会があればいいですね。今最も難しい事かもしれません。
- 川西市には最近引っ越してきてどうか分かりませんが、全国的に少子化の為にお年寄り等の意見に^い偏りがちな印象があります。もっと若者や子供の意見が通るようになることを先陣を^いきって川西市やって頂けることを期待しています。
- 子どもや若者当事者の近くにいる人が^い注意深く耳を傾ける必要があると思えます。何か意見を持っているのかどうかは、やはり^い両親や学校の先生でなければなかなか気づくことが出来ないと感じるからです。学校でのアンケートなどで^いとりあえず全員に満遍なく機会が与えられることが必要であり、^いそこではじめて統計がとれるのではないのでしょうか。唐突に何か意見はありませんか？と問われて意見出来る子どもや若者は^いごく僅かであると思うのです。
- 沢山の意見や考えを取り入れて川西市が^いいい方向に進むといいなと思えます
- 伝えた意見は実現すると、^い形として見せる
- 学校や習い事の場合、サークルなど^い積極的に顔をだし、同じ目線で向き合う。
- 子ども・若者の意見を^いしっかり聞くことが出来る大人を育てる。

- ども、若者に限らず、市からの発信が少ない気がします。市報をじっくり読むのは比較的年配者ではないでしょうか。子どもなら学校を通じて、若年者なら SNS など、もっと積極的に発信していただければと思います。趣旨からは逸れますが、私のように普段子供と関わりのない立場の者は取り残されているように感じます。世代を区切らず、もっと幅広い年齢層が交流できる機会があれば良いかなと思います。規模の問題もあるかもしれませんが、地区により活動が活発な地域、そうでない地域がくっきりと別れているように思います。川西市として何か纏まった取り組みができると良いなと思います。川西市で育ち、また川西市に戻ってきましたが、残念ながら魅力が段々失われているような気がしています。子ども、若い人を大切にしていかなければ地域の未来はないと思いますが、全年代の人が住みやすい場所であってほしいと思います。
- 誰もが、自由に意見を言える仕組みを考えてほしい。
- 子どもや若者に意見や、考えを表面してもらうには、まず言っても無駄と思わせない環境づくりが大事だと思う。どうせ声をあげても変わらない... と思っている子どもや若者が大多数だと思う。慣行の見直しも重要だと思う。
- 若者の意見も大事でしょうが、間違った意見やおかしなことを言った時に、叱ってあげられる方、大人の意見も大事じゃないですか。
- 子ども・若者の意見を取り入れていくことは、とても良いと思ひ賛成です。しかし、何もかもを取り入れるのではなく、本当に伝えたい事と勝手な意見とを、しっかり見極める力と判断が必要だと思います。一方的な大人の意見で左右されないことを願います。よろしく願います。
- 話し合いの場に、子どもや若者が参加できるように募集したり、子ども会や若者の集まりの場で、みんなの考えを書いて、提出して貰ったら、どうでしょう。
- 意見を述べられるように、寄り添い、途中で否定的な反応をしない事は、重要だと思います。意見が自分と違っていても、こちらが間違っているかもしれないと、謙虚に耳を傾ける心がけは、必要だと思います。具体的な事は、やってみないと、結果はどうなるかわかりませんから。市政レベルの事になると、意見を表明するタイミングが難しいと思いますが、上段に振りかぶると意見が出にくいかもしれません。手軽さも大事だと思います。
- まずは子どもたち若者の意見考え方を尊重して活かすこと。
- 意見することが無意味ではないことを、子どもたちにわかってもらうのが良いと思う。どうしてそう思うのか、理由も丁寧に聞いてあげるのが良いと思う。実際に、家庭では息子と娘は言いたいことを言うけど、全部は受け入れてあげられないけど、本人たちが納得して生活出来るように、落とし所を作っておけるようにしている。そのおかげか、今のところはあまり隠し事が無いと思っている。言いにくくて知らないことがあったとしても、勇気を出して伝えてきた意見は大事にしてあげようと思っている。
- 良い事、積極的にこなって下さい。
- 自分の意見や考えを伝えることで学ぶ事は多いと思います、それによってより良いまち

づくりに繋がる可能性は大いに期待したいです。どうしたら意見を言いやすいか？の議論も大切ですが、自分の考えをしっかりと伝えられる大切さを育むには保護者や教育等のサポートも不可欠かと思えます。

- ・ 子ども、若者等と接触が無い為直接会う機会も無く残念に思っております。
- ・ 別に特別な事をしなくても、日頃の生活などであいさつや互いにおもいやりをもっていけば、いいと思う。
- ・ 今の幼児の親の態度が理解できない。もっと躰すべきである。マナーの悪さ、自分の言いたいことを言うだけで義務をはたさない。しかし、若い人の意見や行動を取り入れ改善していかななくてはならない。もっと交流すべきだと思う。ありがとうございました。
- ・ テーマによると思えます。子ども、若者がどう思っているかを知ることは大切だと思えます。その上で、テーマによっては直接的に求めるのも必要ではないかと思えます。
- ・ まちづくりや市政に小さい子供の時から参加するシステムが無い。子供の意見は時には大人が思っている以上に的を的について居る処が有り驚かされる。色々な場面や場所で若者、子供も一緒に参加出来る事が大切。学校などにも気軽に意見の言える場を作っては。テーマを決めず、今の社会に対しての意見を言える(紙に書いて)目安箱的な物を、何処に公園が欲しいとか……簡単な意見から良い方向に進めば小さな事でも何かが動く子ども若者も何か発信したら叶うのだと思うと言う気持ちも高まるのでは。

かわにしし
川西市

わかもの いけんひょうめい かん ちょうさ
こども・若者の意見表明に関するアンケート調査

けっかほうこくしよ
結果報告書

れいわ ねん がつ
令和6年7月

はっこう かわにしし みらいぶ せいさくか
発行：川西市こども未来部こども政策課

ひょうごけんかわにししちゅうおうちよう
兵庫県川西市中 央 町 12-1

でん わ
電話：072-740-1246

F A X：072-740-1339